東芝ホームゲートウェイ（家庭用）

形名：HEM-GW13A

ユーザーズガイド

Simple HEMS™

もくじ

はじめに

- このたびは、「東芝ホームゲートウェイ HEM-GW13A」をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこのユーザーズガイドをよくお読みになり充分に理解してください。
- このユーザーズガイドでは、装置の基本操作、周辺機器との接続方法、トラブルで正しく動かなくなったときの対処の仕方について説明しています。
- お読みになったあとは、必要なときはすぐに取り出せるように大切に保管してください。
- この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- 保証書は別紙のセットアップガイドにあります。添付の製造番号シールを保証書にお貼りください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い上げの販売店へご連絡ください。

用途制限について

ご購入いただきました東芝ホームゲートウェイ HEM-GW13A は、一般家庭用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする用途例

- 化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、交通管制装置など

規制について

- 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

- 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、この製品に付属する周辺機器もソフトウェアも同じ扱いになります。

商標について

Bluetooth® は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
Microsoft、Windows、Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
「エコーネット」、「ECHONET」、「ECHONETLite」、「ECHONETReady」と TM は、エコーネットコンソーシアムの商標です。
その他、本書に記載されている商品の名称は、各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
UPnP は UPnP Implementors Corporation の商標です。
UPnP は Universal Plug and Play の略です。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用をこころがけていただきますよう、お願いいたします。

Bluetooth® について

本製品は、Bluetooth Version 2.1 仕様の Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いています。Bluetooth Version 1.1 以降の Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた機器と互換性があります。本製品は全ての Bluetooth 機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth 対応機器の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

Wi-Fi について

本製品は、WPA version 2 仕様の Wi-Fi 認証を受けており、WPA version 2 仕様の Wi-Fi 認証を受けた他の機器と互換性があります。ただし、本製品は全ての Wi-Fi 機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Wi-Fi 機器の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表示の意味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（じゅうしょう）（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（しょうがい）（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

＊1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	表示の意味
🚫 禁止	🚫は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■全般について

⚠警告

分解・改造・修理をしない

火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝ライテック照明ご相談センターにご相談ください。

分解禁止

本製品は日本国内専用

国外で使用すると火災や感電の原因となります。また他国には独自の安全規格が定められており本製品は適合しません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

指 示

AC アダプタなどは、付属または指定のものを使用する

それ以外のものを使用すると、火災の原因になります。

指 示

■設置について

つぎの場所では使用、保管しない

・ふろ場など、水がかかったり、湿気の多い場所
・雨、霧などが直接入り込むような場所
・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
・直射日光が当たる場所
・炎天下の閉めきった車内
・極端な高温、低温の場所
・ほこりの多い場所
・振動の強い場所
・磁石、スピーカーなど磁気を発するものの近くの場所
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニア等）の発生する場所感電、火災、故障の原因になります。

禁 止

製品の近くや上にコップ、花びんなど、液体の入った容器を置かない

液体がこぼれて内部に入ると、感電、故障の原因になります。万一本体内部に入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。

禁 止

マニキュア、ペディキュア、除光液、スプレーなど揮発性の液体は、本製品の近くで使わない

製品の中に入って引火し、火災の原因になります。

禁 止

航空機内や病院内などの使用を禁止された場所では、本製品を使用しない

使用すると運行装置や医療機器などに影響を与え、事故の原因になります。

禁 止

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している人から 22cm 以上離して使用する
近すぎると電波によりペースメーカなどの動作に影響を与えるおそれがあり、事故の原因となります。

付近に心臓ペースメーカを装着されている方がいる可能性がある場所では、本体の電源を切る
近すぎると電波によりペースメーカなどの動作に影響を与えるおそれがあり、事故の原因となります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。

前後左右および上部を各 10cm 以上あけて設置する
情報分電盤に設置するときは個別に確認が必要になります。

⚠ 注意

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かない
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

幼児の手の届く場所には置かない
けがの原因になります。

ケーブルは足などに引っかけないように、配線する
足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。

ケーブルの上に重量物を載せない。また、熱器具のそばに配線しない
ケーブル被覆が破れ、発火、接続機器などの故障の原因になります。

■使用について

⚠ 警告

内部にクリップなどの金属類、燃えやすいもの、異物などを入れない

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。内部に入った場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁 止

ぬれた手で本製品を操作しない

火災、感電、故障の原因となります。

禁 止

通電中の本体や AC アダプタに布団をかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない

内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。

禁 止

移動するときは、AC アダプタをコンセントから抜き、外部のケーブルをはずす

守らないとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

禁 止

⚠ 注意

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしない

発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

禁 止

製品を廃棄するときは、次の内容を守る

＜事業者が廃棄する場合＞

・廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は、(社) 全国産業廃棄物協会に用意されています。

＜個人が廃棄する場合＞

・お買い上げの販売店にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

指 示

■ACアダプタ

⚠ 警告

分解しない

感電・火災の原因となります。

ACアダプタは、ホームゲートウェイ（HEM-GW13A）専用

他の機器に使用すると故障・感電・火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

タコ足配線などで定格を超えると、火災、感電の原因になります。また、電力使用量オーバーでブレーカが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

ACアダプタは、家庭用交流100Vコンセントを使用し、奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災、感電の原因になります。

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを取り扱うときは、次の内容を守る

・引っ張らない　・傷つけない　・ねじらない　・物を載せない
・押し付けない　・加熱しない　・束ねない　・無理に折り曲げない
・加工しない　・熱器具のそばで使わない

守らないと、火災・感電の原因になります。もし、コードが破損したときは、指示お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。

ACアダプタの差刃や差刃付近に、ほこりがついているときは、ACアダプタをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりを取る

ACアダプタにほこりがたまると、絶縁低下により、火災の原因になります。

近くに雷が発生したときは、ACアダプタや接続ケーブルなどを抜く

雷によっては火災、感電、故障の原因となります。

ACアダプタは換気の良い場所で使用する。また使用中のACアダプタを布でおおったり包んだりしない。

火災・発熱の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプタをコンセントから抜くときは、ACアダプタを持って抜く
電源コードを引っ張って抜くと、コードが傷ついて火災、感電の原因となります。ACアダプタを抜くときは、ACアダプタを持って抜いてください。

電源を再投入する場合、必ず電源コンセントからACアダプタを外した状態で5秒以上おいてから電源を入れる
5秒以上おかずに電源を入れると、正常に起動しない場合があります。

■お手入れについて

⚠ 警告

お手入れの際は、ACアダプタをコンセントから抜く
感電、けがの原因になります。

■異常時の対応について

⚠ 警告

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、加熱、発煙したときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災、故障の原因になります。お買い上げの販売店に点検を依頼してください。

本製品を落としたり、ケースを破損した場合は、ACアダプタをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。お買い上げの販売店に点を依頼してください。

お願い

■電波について

・本製品は、2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムが、内蔵されています。
・本製品は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避不可能です。変調方式は「FH-SS 方式」です。与干渉距離は 80m です。

2.4 FH 8

・本製品は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として「DS-SS 方式」および「OFDM 方式」を採用しており、想定干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4

・電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信容量が異なります。
・無線区間では故意に第三者によりデータ傍受がされることがあります。留意してご利用ください。
・本製品の使用周波数帯 (2.4GHz帯) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) が運用されています。
　1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
　2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
　3. その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、東芝ライテック照明ご相談センターへお問い合わせください。
・本製品は、電波法に基づく高度化小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術基準適合証明を受けています。本製品の分解・改造は違法であり、法律により罰せられることがあります。
・植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品および他 Bluetooth 対応機器、Wi-Fi 対応機器をペースメーカーなど装着部から 22cm 以上離してご使用ください。
・航空機内や病院内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や医療機器に影響をあたえ、事故の原因となるおそれがあります。

電波障害について

・ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。
　特に近くにテレビやラジオなどがある場合は、次のようにしてください。
　　＊テレビやラジオなどからできるだけ離す。
　　＊テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
　　＊コンセントを別にする。

使用環境

・周囲温度が5℃～40℃、周囲湿度が10%～85%の場所でご使用ください。

取扱いについて

・本製品の上に物を載せたり、物を落としたりしないでください。破損、故障の原因となります。

お手入れ

・お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
変色・変形、変質の原因になります。
汚れはやわらかい乾いた布でふいてください。
・静電気集塵型化学ぞうきんは使わないでください。
変色・変形、変質、故障の原因になります。

本書の構成

章	対象
第1章(Chapter1)　本製品について 本製品の概要を説明しています。	必ずお読みください
第2章(Chapter2)　設定する 本装置の設置から、ネットワークにアクセスできるようになるまでを説明しています。	必ずお読みください
第3章(Chapter3)　詳細な設定をする 詳細な項目の設定について説明しています。	より使いこなしたい方はお読みください
第4章(Chapter4)　機器をコントロールする ホームゲートウェイから家電や給湯設備などをコントロールする方法を説明しています。	より使いこなしたい方はお読みください
第5章(Chapter5)　オプション設定とメンテナンス 本製品の動作記録の確認、ソフトウェアのアップグレードなどの方法を説明しています。	より使いこなしたい方はお読みください
第6章(Chapter6)　フェミニティ倶楽部を使用する インターネットに接続し、フェミニティ倶楽部を使う方法を説明しています。	必要に応じてお読みください

第７章 (Chapter7)　困ったときは 本製品を使用していて困ったとき、故障かな？と思ったときの対処方法を説明しています。	必要に応じてお読みください
付　録 本製品の仕様や、お客様ご相談窓口について説明しています。	

本書の表記法

本書では、用語と操作手順を説明、指定、および強調するときには、以下の表記方法を使用しています。

・略語

略語が本書で最初に現れたときと、明確に説明する必要があるときには、定義の後ろに略語をカッコで囲んで表記します。例えば、「Read Only Memory（ROM)」のように表記します。

・入力するキー

本文中の入力操作の説明では、キーボードのキーを使用することがあります。このキーをキーボードに表記されている記号で表すときは、[　] で囲んでいます。例えば、[Enter] は [Enter] キーを示します。

・記号の意味

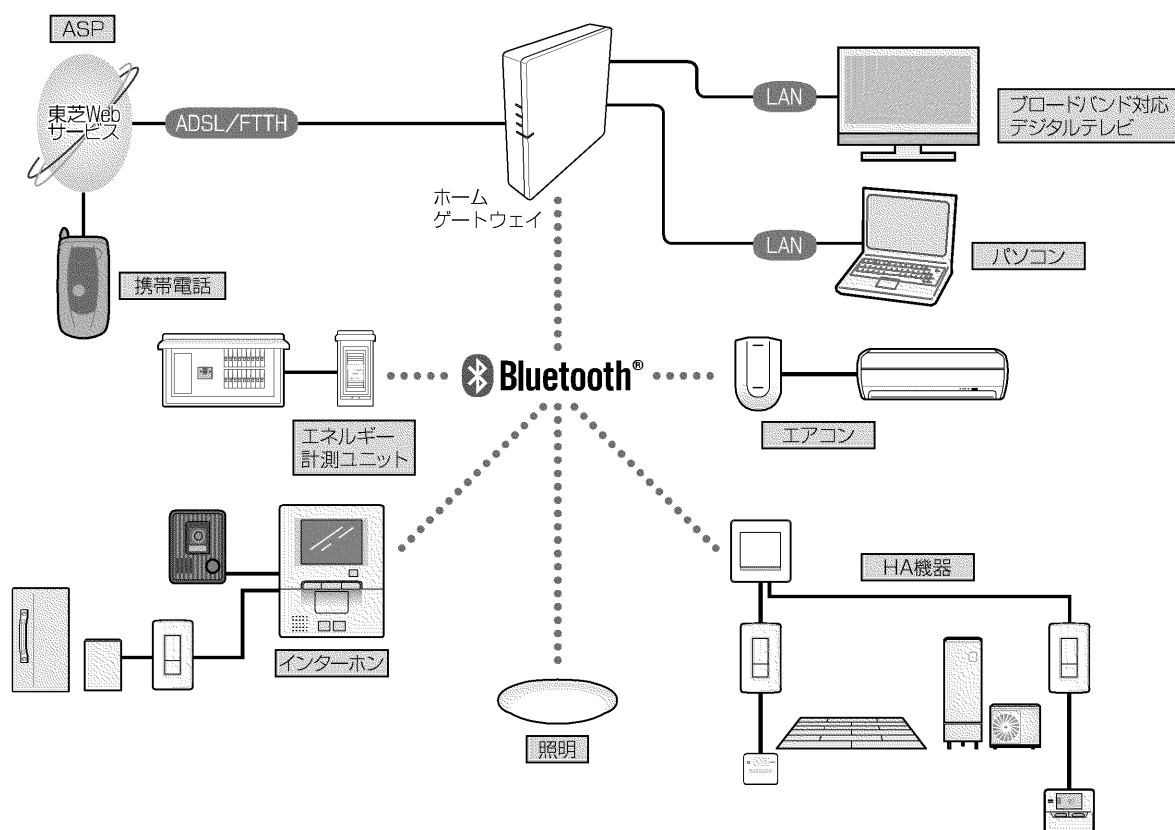
記号	意味
重要	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
MEMO	知っていると便利な内容を示します。

1 本製品について

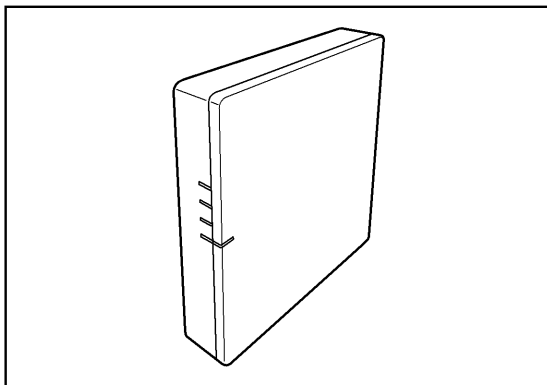
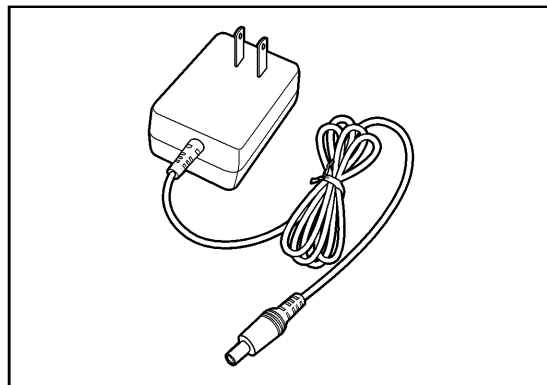
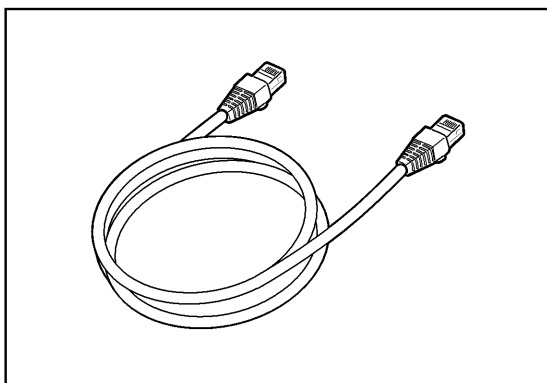
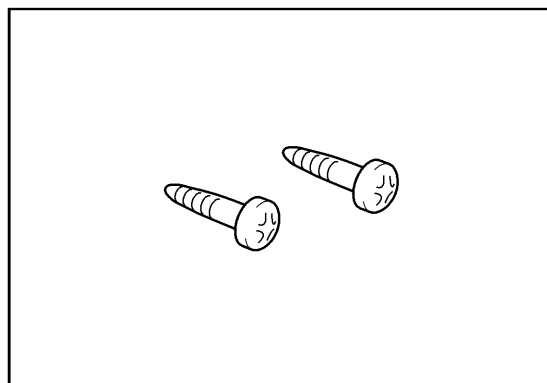
1 ホームゲートウェイとは

東芝ホームゲートウェイ（以降、「ホームゲートウェイ」と記述します）は、インターネットと接続し、「フェミニティ倶楽部」が提供するサービスを利用してネットワーク家電をコントロールするための装置です。

また、Bluetooth、無線 LAN または LAN ケーブルでパソコンを接続すれば、パソコンからインターネットを利用することもできます。

■接続構成例（ルータモード時）

- インターネットを利用するには、インターネットプロバイダと契約し、インターネットに常時接続できる環境が必要です。
- フェミニティ倶楽部のサービスを利用するには、会員登録が必要です。

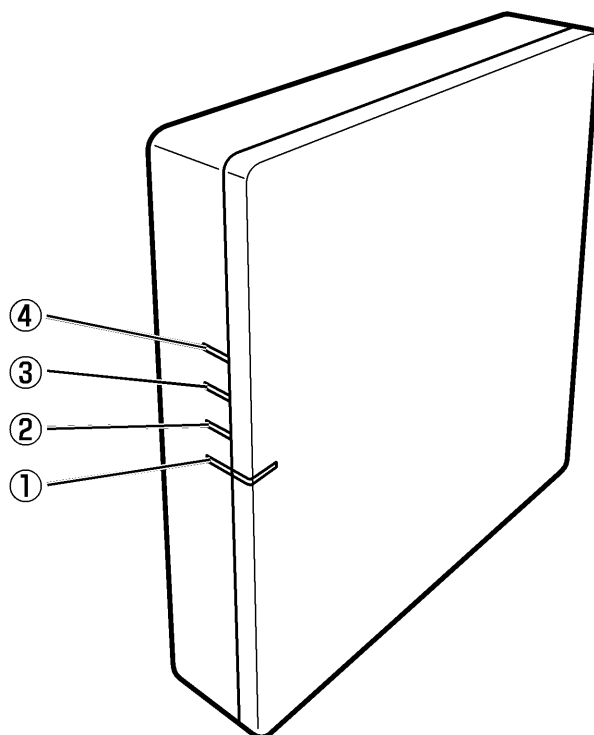
2　製品構成

以下のリストを参照して、ホームゲートウェイのパッケージの内容について確認してください。不足や破損があった場合は、お早めに購入先までご連絡ください。

本体× 1

AC アダプタ× 1

LAN ケーブル（0.5m）× 1

壁掛け用ネジ× 2

- 取扱説明書 CD
  (ユーザーズガイド、
  フェミニティ倶楽部セット
  アップガイド)
- セットアップガイド
- 壁面取り付け用ガイドシート

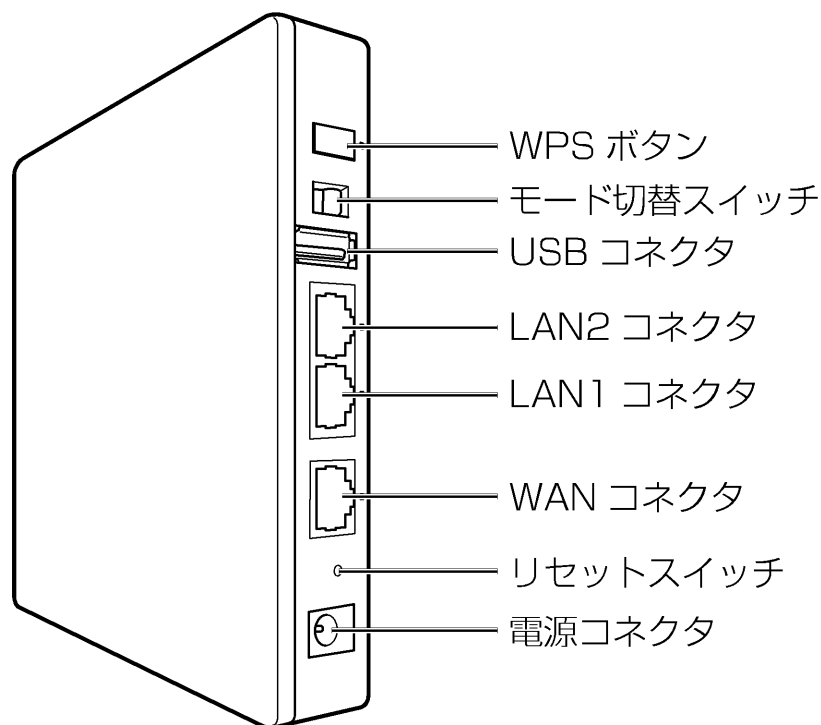
ドキュメント類 (各 1)

3　各部の名称

左側面

	名称	色	動作
①	電源 LED	青	点灯：電源 ON 消灯：電源 OFF
②	無線 LAN LED	緑	点灯：無線 LAN が有効 点滅：データ送受信中 消灯：無線 LAN が無効
③	Bluetooth LED	青	点灯：Bluetooth が有効 消灯：Bluetooth が無効
④	お知らせ LED	緑	点滅：起動中 消灯：起動完了
		赤	点滅：家電製品からのお知らせ

⚠ 注意

電源 LED が点灯しない場合は、本装置の故障です。使用を中止して AC アダプタを抜き、「東芝ライテック照明ご相談センター」（巻末参照）にご相談ください。

右側面

名称	色	動作
WPS ボタン	緑	ボタンを押すと、無線 LAN の接続処理を行います。 点滅：接続設定中
WAN コネクタ	緑	インターネットに接続するためのコネクタです。 点灯：WAN 接続（リンク） 点滅：データ送受信中 消灯：WAN 接続（リンクなし、またはケーブル未接続）
LAN1 コネクタ	緑	LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続するためのコネクタです。 点灯：LAN1 接続（リンク） 点滅：データ送受信中 消灯：LAN1 接続（リンクなし、またはケーブル未接続）

LAN2 コネクタ	緑	LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続するためのコネクタです。 点灯：LAN2 接続（リンク） 点滅：データ送受信中 消灯：LAN2 接続（リンクなし、またはケーブル未接続）
モード切替 スイッチ		ホームゲートウェイの動作を、ルータモードまたはアクセスポイントモードに切り替えます。 アクセスポイントモードにした場合、本製品の WAN コネクタは LAN コネクタとして動作します。
USB コネクタ		（使用不可）
リセットスイッチ		設定を初期状態に戻すときに使います。
電源コネクタ		電源コードを接続します。

2 設定する

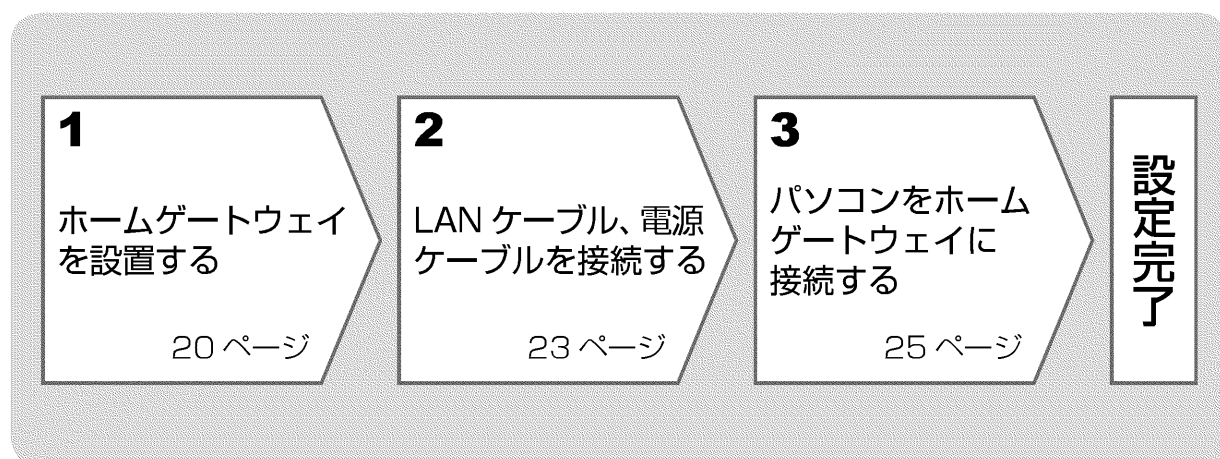
■ 設定の流れ

ここでは、ホームゲートウェイを設定してネットワークにアクセスするまでの設定のながれを説明します。

1
ホームゲートウェイを設置する
20 ページ

2
LAN ケーブル、電源ケーブルを接続する
23 ページ

3
パソコンをホームゲートウェイに接続する
25 ページ

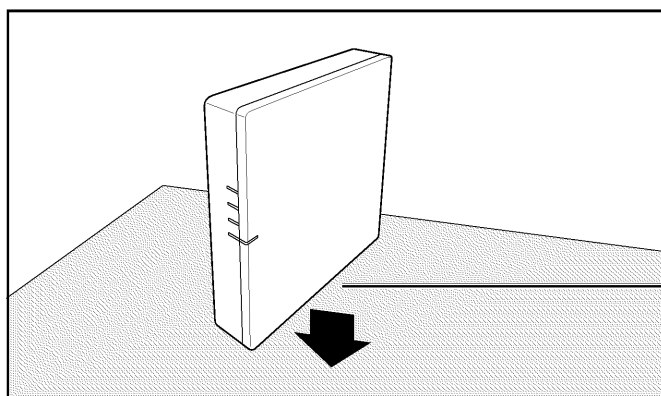
設定完了

- インターネットに接続するには、あらかじめサービスプロバイダなどと契約し、インターネット接続に必要なユーザ ID とパスワードを入手しておく必要があります。

1 ホームゲートウェイを設置する

本装置には、机などの水平な場所に置く、付属のネジで壁に掛ける、の2通りの設置方法があります。

⚠ 注意

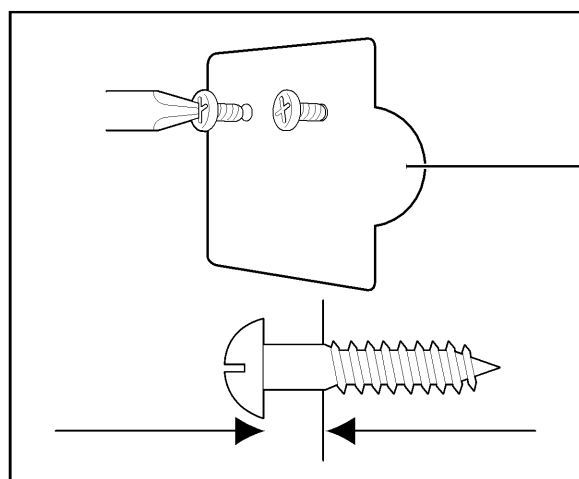
- 本装置を、不安定な場所や高い場所などに設置しないでください。落下の恐れがあります。

■ 机などの水平な場所に置く場合

必ず平らな面に置いてください。

■ 付属のネジで壁に掛ける場合

本装置を壁に掛けるときは、付属品として同梱されている 2 本の壁掛け用ネジでしっかりと固定します。

1 付属の壁掛け用ネジを壁に取り付ける

付属の壁掛け用ネジ（2 本）を、壁面取り付け用ガイドシートを使って、壁などに取り付けます。

壁掛け用ネジの頭と壁の間は、4mm ほど間隔をあけてください。

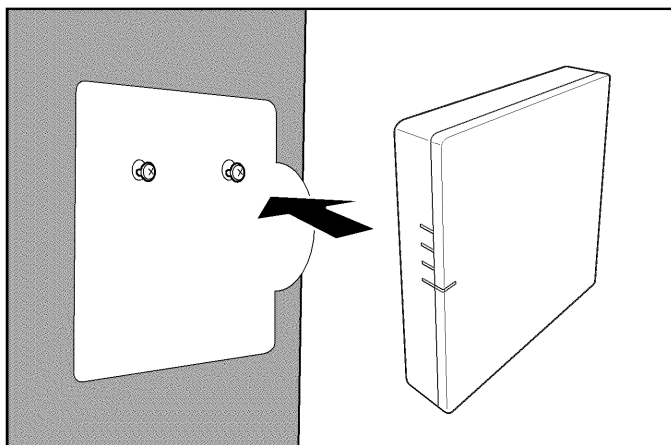
⚠ 警告

前後左右および上部を各 10cm 以上あけて設置する
情報分電盤に設置するときは個別に確認が必要です。

⚠ 注意

- **壁掛け用ネジを取り扱う場合は、ケガなどのないようご注意ください。**
- **本装置を天井から吊り下げて使用しないでください。落下の恐れがあります。**
- **石膏ボードのような脆い壁面やベニヤ板のような薄い壁面には使用しないでください。本装置を固定する充分な強度が得られません。**
- **厚さ 15mm 以上の木板（壁掛け用ねじのネジ部分が収まる厚さ）を推奨します。**
- **取り付け後、引いたり、揺らしたりしても外れないことを確認してください。**

2 本体底面の取り付け穴を壁掛け用ネジに掛ける

2 本ともはいったことを確認し、本体を約 5mm 下方へずらして固定します。

3 取り付けを確認後、壁面取り付け用ガイドシートの引き出し用ベロを引っ張り、ガイドシートを抜き取ります。

⚠ 警告

ホームゲートウェイを取り付ける壁面の裏側にガス、水道の配管や電気配線等が施行されていないことを確認してください。
壁掛け用ネジが配管や配線を傷つけて、感電、火災などの事故の原因となるおそれがあります。

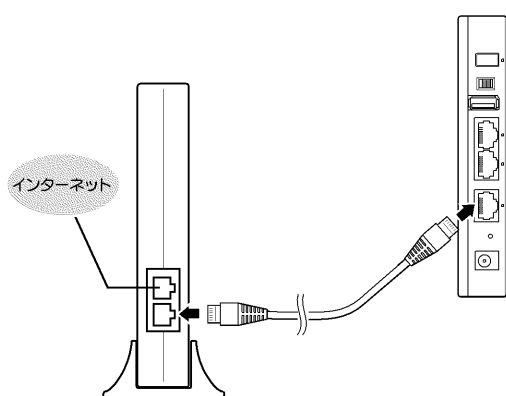
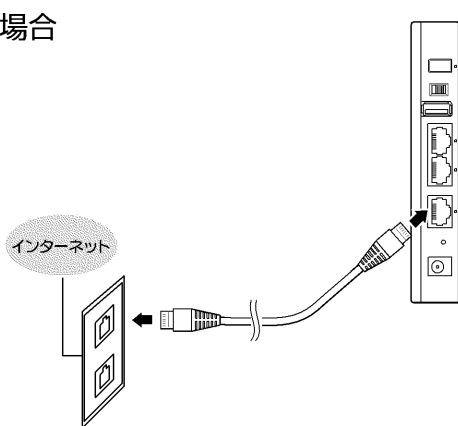
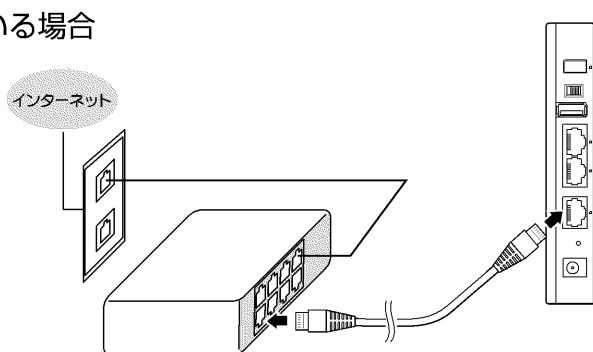
⚠ 注意

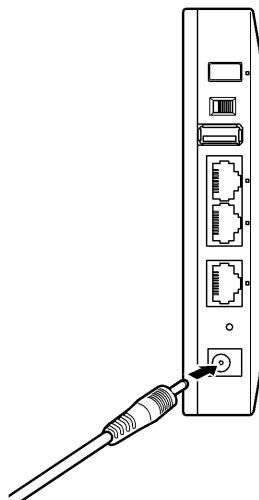
- 取り付け穴が壁掛け用ネジにしっかり掛かっているかご確認ください。しっかり掛かっていないと、落下のおそれがあります。

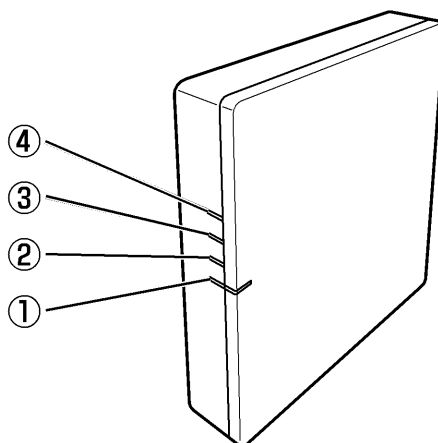
2 LAN ケーブル、電源ケーブルを接続する

■ LAN ケーブルを接続する

1 ホームゲートウェイの「WAN コネクタ」に、付属の LAN ケーブルをつなぐ

以下に接続の例を挙げます。

■ 電源ケーブルを接続する

1 ACアダプタのプラグを本体側面の電源コネクタに挿す

2 ACアダプタをコンセントに挿す

本体の電源LED（①）が点灯します。無線LANが有効であれば、数十秒後に無線LAN LED（②）が点灯します。
次にお知らせLED（④）が点滅を開始し、Bluetooth LED（③）が点灯します。お知らせLED（④）が消灯すれば、起動完了です。

⚠ 注意

- ACアダプタをコンセントに挿すときは、感電しないようご注意ください。
- 電源LEDが点灯しない場合は、本装置の故障です。
  使用を中止してACアダプタを抜き、「東芝ライテック照明ご相談センター」（巻末を参照）にご相談ください。

3 パソコンをホームゲートウェイに接続する

ホームゲートウェイの設定画面を表示するために、パソコンをホームゲートウェイに接続します。次の 3 つの接続方法があります。

・LAN ケーブルを使って有線で接続
・無線 LAN を使ってワイヤレスで接続
・Bluetooth を使ってワイヤレスで接続

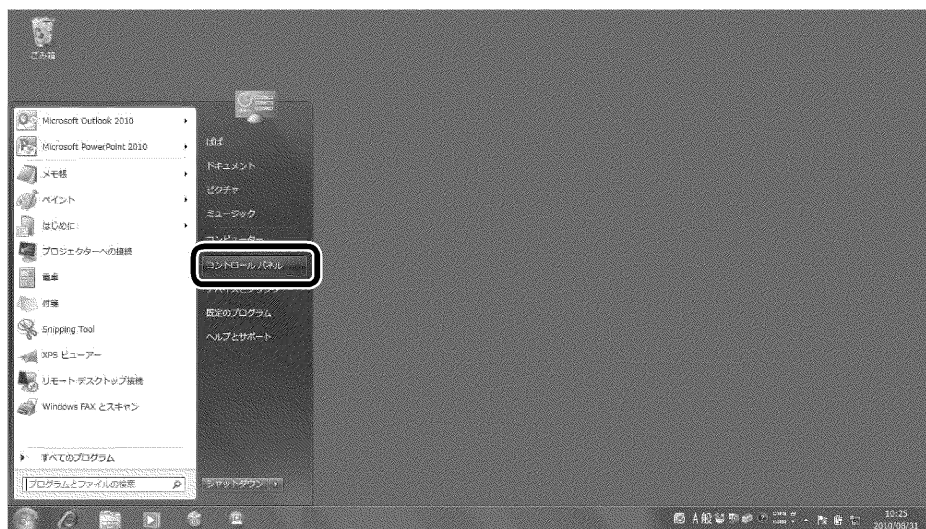
• Bluetooth で接続する場合には、パソコンに Bluetooth が搭載されており、Bluetooth 機器の接続や設定を行うためのソフトウェアがインストールされている必要があります。

・接続の準備をする

・接続する
- LAN ケーブルで接続する場合
- 無線 LAN で接続する場合
- Bluetooth で接続する場合

(1) 接続の準備をする

以降、Windows7 の画面を例に表示します。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

コントロールパネルが開きます。

2 ［ネットワークとインターネット］から［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックする

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

3 ［アダプターの設定の変更］をクリックする

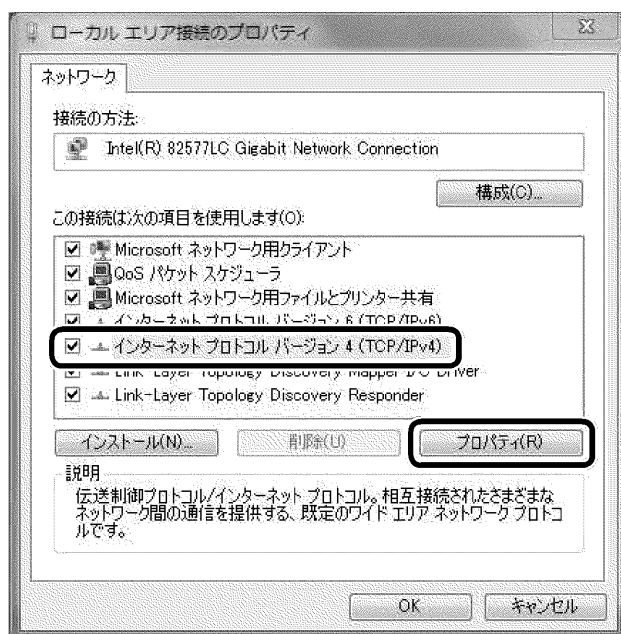
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

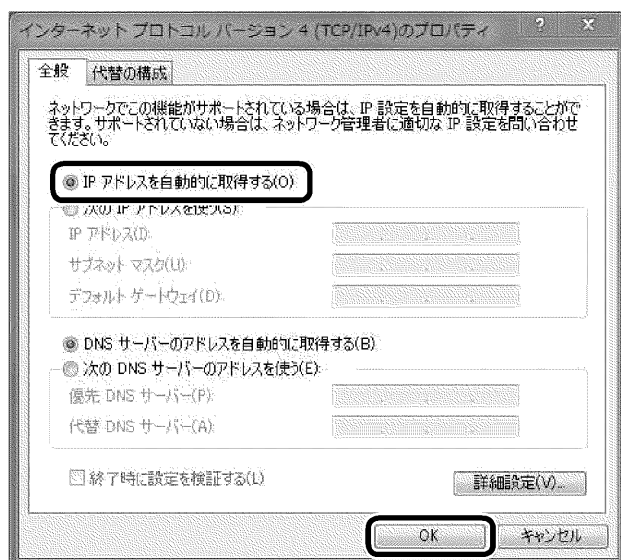
4 [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックする

「ローカルエリア接続の状態」画面が表示されます。

5 [プロパティ] ボタンをクリックする

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

6 「インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IP4)」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする

「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されます。

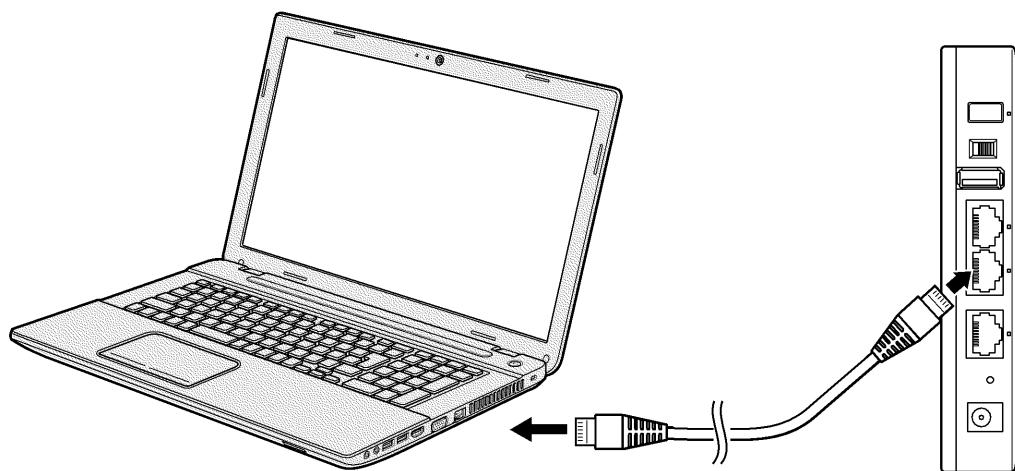
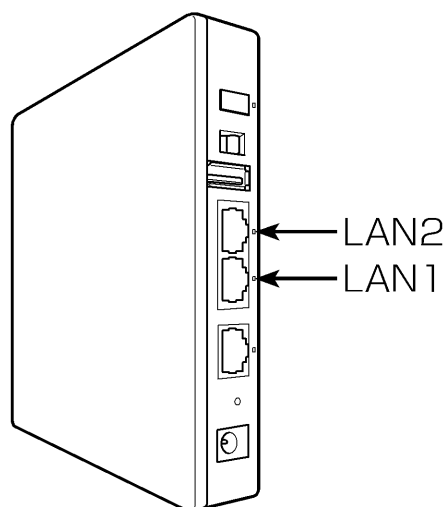
7 「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、[OK] ボタンをクリックする

• 最初から「IP アドレスを自動的に取得する」が選択されている場合は、そのまま [OK] ボタンをクリックしてください。

(2) 接続する

■ LAN ケーブルで接続する場合

ここでは、パソコンとホームゲートウェイを LAN ケーブルで接続する方法について説明します。

- パソコンに 10BASE-T または 100BASE-TX の LAN ポート、LAN カードなどが搭載され、使用可能な状態にあることが必要です。
- パソコンとホームゲートウェイとの接続には、別途 LAN ケーブルをご用意ください。

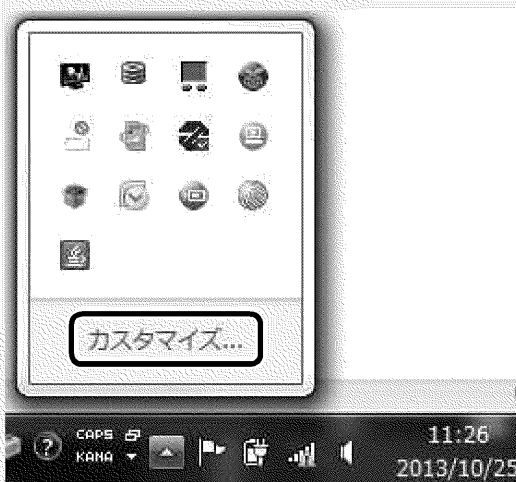
1 パソコンの LAN ポートと、ホームゲートウェイの LAN1 コネクタまたは LAN2 コネクタを LAN ケーブルで接続する

ホームゲートウェイの LED 表示部の、接続した LAN コネクタの LED が点灯すれば、接続完了です。

■ 無線 LAN で接続する場合

ここでは、パソコンとホームゲートウェイを無線 LAN で接続する方法について説明します。

- パソコンに無線 LAN が搭載され、使用可能な状態にあることが必要です。
- パソコンに無線 LAN スイッチがある場合は ON にしてください。

1 画面右下のタスクトレイにある無線 LAN のアイコン をクリックする

「ネットワークの一覧」が表示されます。

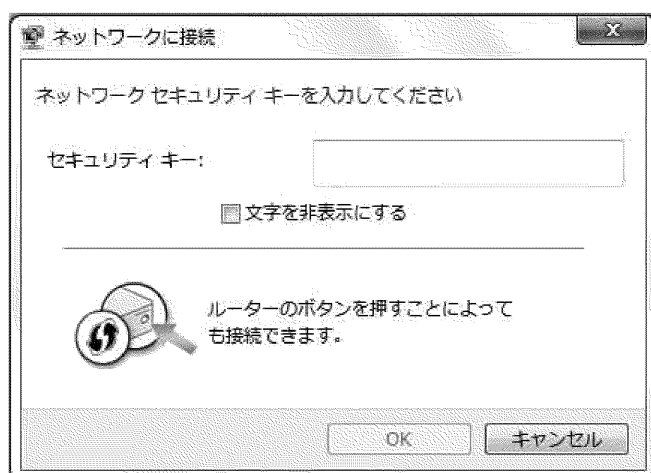
- タスクトレイに無線 LAN のアイコンが表示されていない場合は、以下の手順でアイコンを表示させます。
  タスクトレイのアイコン をクリックし、表示されるポップアップの［カスタマイズ］をクリックします。

「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示されます。「タスクバーに全ての通知と設定を表示する」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

2 本製品を選択し、[接続] ボタンをクリックする

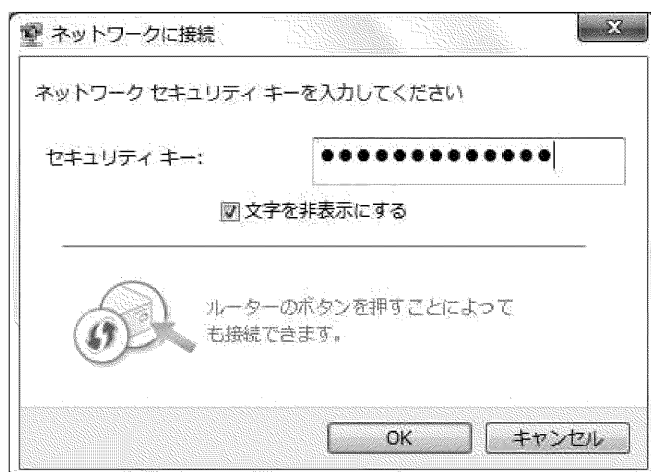
- 画面には製品の「SSID」が表示されます。「SSID」は、本製品背面のラベルに記載されています。
- 「SSID」を変更している場合は、変更後の SSID を選択してください。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 「ネットワークに接続」画面が表示されたら、本製品の WPS ボタンを、ランプが緑点滅するまで押す（約 3 秒間）

- この操作は、手順 2 のあと 2 分以内に行ってください。
- WPS（52 ページ参照）が無効に設定されている場合、本手順は使えません。手順 4 に進んでください。

接続が完了すると、「ネットワークに接続」画面は自動的に閉じます。しばらく待っても画面が閉じない場合は、次の手順に進んでください。

4 「セキュリティキー」欄に本製品に設定されている「暗号キー」を入力し、[OK] ボタンをクリックする

- 「暗号キー」は、本製品背面のラベルに記載されています。
- 「暗号キー」を変更している場合は、変更後の暗号キーを入力してください。

■ Bluetooth で接続する場合

ホームゲートウェイは、Bluetooth の PAN（Personal Area Network）プロファイルを使用してネットワーク接続する事ができます。
接続方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

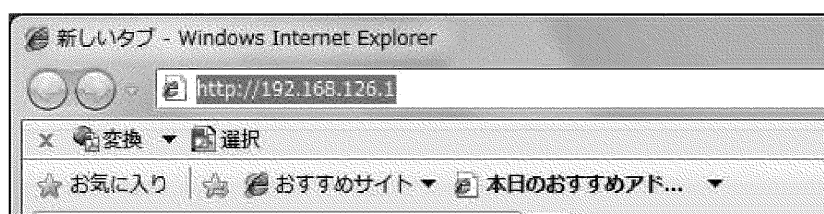
- Bluetooth で接続する場合には、パソコンに Bluetooth が搭載されており、Bluetooth 機器の接続や設定を行うためのソフトウェアがインストールされている必要があります。

4 ホームゲートウェイの設定画面を表示する

ホームゲートウェイにログインして設定画面を表示します。

（1）ホームゲートウェイにログインする

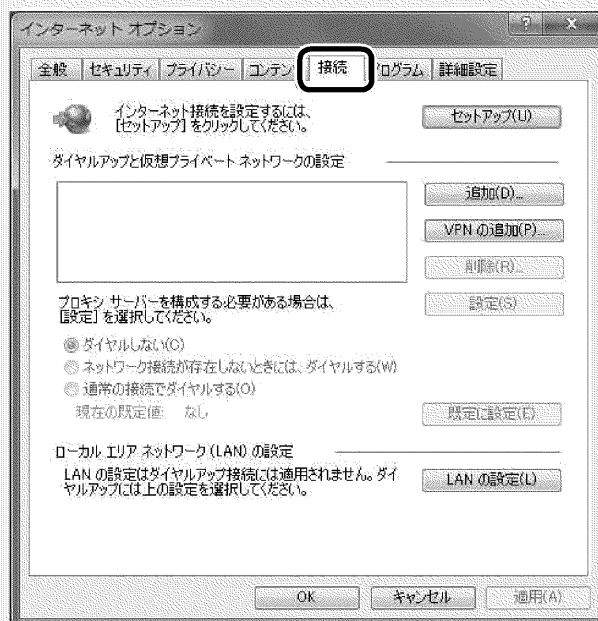
パソコン上で Internet Explorer（以降、「ブラウザ」と記述します）を開き、ホームゲートウェイの設定画面を表示します。

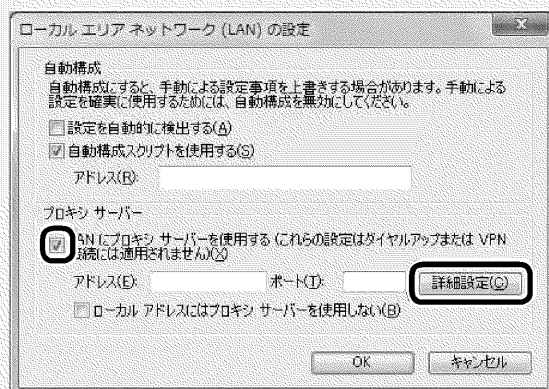
1 ブラウザのアドレスバーに "http://192.168.126.1" と入力し、［Enter］を押す

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- LAN 設定（45 ページ）で IP アドレスやサブネットマスクを変更した場合、初期値の IP アドレスを使用した "http://192.168.126.1" では設定画面を表示できなくなります。
  例えば、LAN 設定で IP アドレスを "192.168.126.100" に変更した場合、ブラウザのアドレスバーには "http://192.168.126.100" と入力して設定画面を表示します。

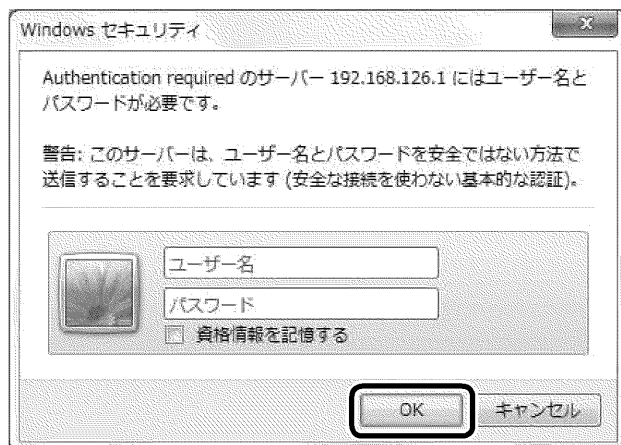
ブラウザがプロキシサーバを通してインターネットに接続するよう設定されていると、ホームゲートウェイに接続できません。以下の手順で、設定を確認してください（Internet Explorer 8.0 の場合）。

① **ブラウザの［ツール］メニューから［インターネット オプション］を選択する**
「インターネットオプション」プロパティが表示されます。

② **「インターネット オプション」プロパティの「接続」タブをクリックする**

③ **「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の［LAN の設定］ボタンをクリックする**
「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面が表示されます。

④ **「プロキシサーバー」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」がチェックされている場合は、［詳細設定］ボタンをクリックする**

⑤ **「例外」欄に「192.168.126.1」を入力し、［OK］ボタンをクリックする**

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

初期設定では、ユーザー名「root」、パスワード「pass」が設定されています。

ホームゲートウェイのトップ画面が表示されます。

- セキュリティのため、初期設定のパスワードはそのまま使い続けず、できるだけ早めに別のパスワードに変更してください。
- パスワードは不明にならないよう、管理してください。
- 「システム設定」のパスワード変更画面（62 ページ）

- ユーザー名とパスワードは、大文字・小文字が区別されます。

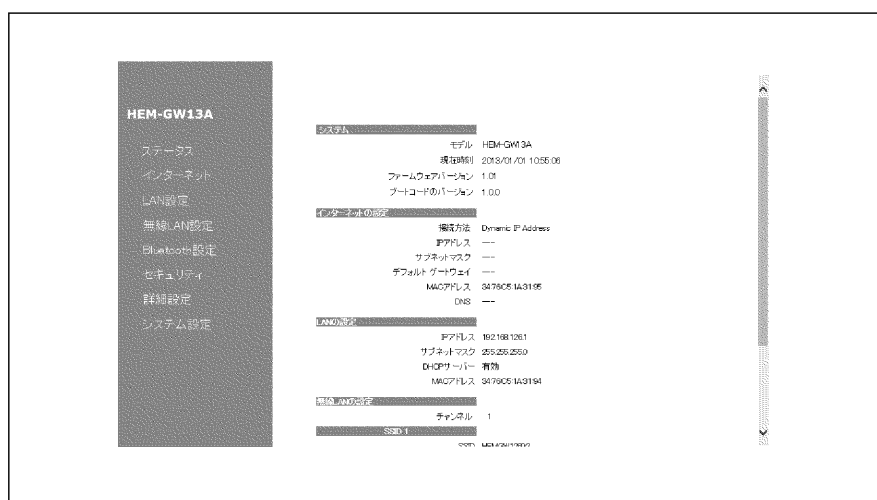
3 詳細な設定をする

ネットワークを手動で設定する、あるいは詳細な設定をする場合は、以降の説明を参照してください。

1 設定画面を開く

ホームゲートウェイのホーム画面で、右下の［設定］ボタンをクリックします。

設定画面が表示されます。左側のメニューから［ルータ設定］をクリックします。

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。35 ページを参照して入力し、［OK］ボタンをクリックします。
ルータ設定画面が表示されます。

- 詳細設定の各画面では、設定の最後に［設定］ボタンをクリックすることで設定が保存されます。［設定］ボタンをクリックせずに画面を閉じたり、他の画面に移動した場合、変更した設定は無効になります。

- ルータモードとアクセスポイントモード（以下、AP モードと記述します）では設定できる項目が異なります。
  以降の説明は、ルータモードを基本にしています。AP モード時にルータモードと異なる設定が必要な項目については、ルータモードに続けて記載しています。
- 以降の詳細設定の説明は、ルータモードの画面を使用しています。AP モードの画面とは内容が異なる場合があります。ご使用のモードを確認の上、設定してください。
- AP モードでの使用方法は、87 ページの「4 複数ホームゲートウェイ」をご覧ください。

■詳細項目の設定内容（ルータモード）

インターネット

・IP アドレス自動取得／ IP アドレス固定設定／ PPPoE 認証

LAN 設定

・IP アドレス設定
・DHCP

無線 LAN 設定

・基本設定
・暗号化
・詳細設定
・フィルター
・WPS
・クライアントリスト

Bluetooth 設定

・機器の設定
・セキュリティ設定
・Bluetooth 家電接続

セキュリティ

・パススルー
・DMZ
・DoS

詳細設定

・ポートの開放
・UPnP

システム設定

・パスワード設定
・時刻の設定
・ログ
・ファームウェア
・バックアップ
・初期化

■詳細項目の設定内容（AP モード）

LAN 設定

・IP アドレス設定

無線 LAN 設定

・基本設定
・暗号化
・詳細設定
・フィルター
・WPS
・クライアントリスト

Bluetooth 設定

・機器の設定
・セキュリティ設定
・Bluetooth 家電接続

詳細設定

・UPnP

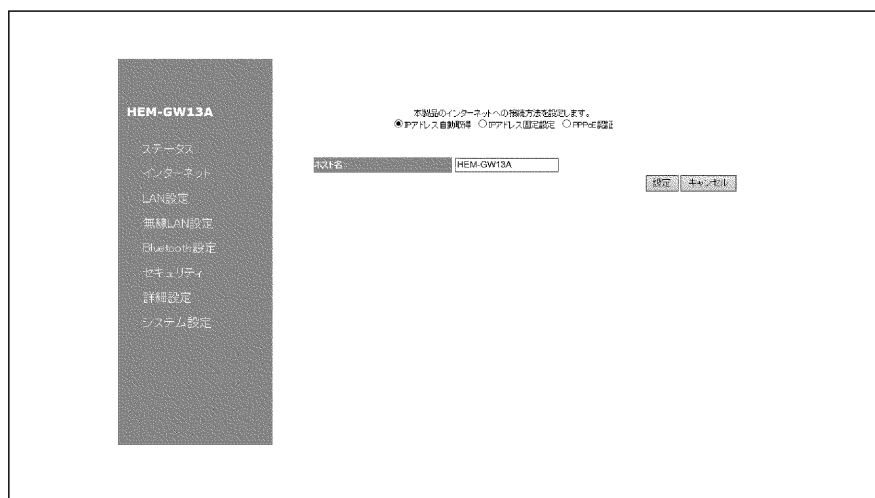
システム設定

・パスワード設定
・時刻の設定
・ログ
・ファームウェア
・バックアップ
・初期化

2 インターネット

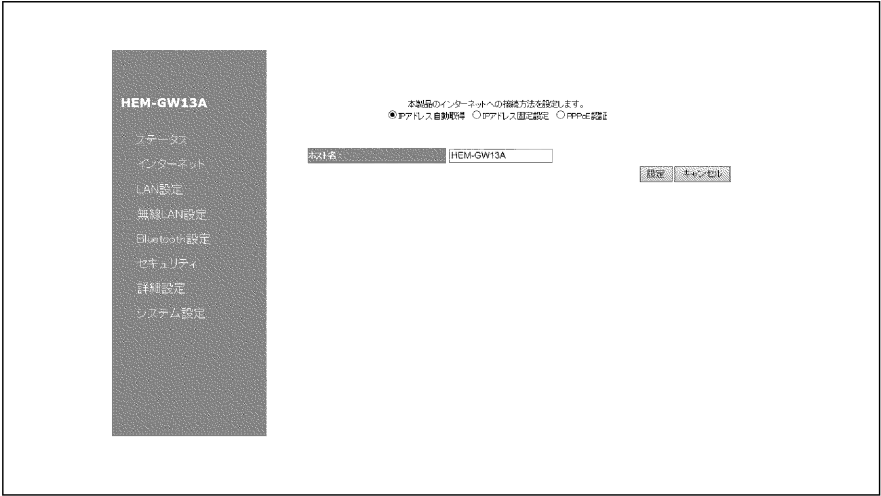
インターネット接続に関する設定を行います。

(1) 接続形式を選択する

本装置とインターネットとの接続方法（IP アドレスの取得方法）を選択します。
選択する接続形式により、設定内容が異なります。

- インターネット接続事業者の指定する機器（モデムなど）により、接続設定は異なります。詳しくは、インターネット接続事業者が指定する機器の取扱説明書をご覧ください。

項目	説明
IP アドレス自動取得	WAN 側の IP アドレスを自動取得します。「DHCP」とも言います。【初期値】
IP アドレス固定設定	手動で IP アドレスを設定し、固定使用します。
PPPoE 認証	PPP over Ethernet で IP アドレスを取得します。
設定	設定内容を保存し、一覧表示します。
キャンセル	設定を保存せずに取り消します。

(2) IP アドレス自動取得設定

WAN 側の IP アドレスを自動取得します。

項目	説明
ホスト名	本装置のホスト名を入力します。 【初期値：HEM-GW13A】

(3) IP アドレス固定設定

手動で IP アドレスを設定します。固定の IP アドレスを使いたい場合に、この方法で設定します。

項目	説明
IP アドレス	IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。
DNS サーバー 1	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
DNS サーバー 2	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを入力します。

(4) PPPoE 認証

PPPoE（PPP over Ethernet）で IP アドレスを取得します。

項目	説明
ユーザー ID	PPPoE 接続で使用するログインユーザー ID を入力します。
接続パスワード	PPPoE 接続で使用するパスワードを入力します。
MTU	MTU 値を変更する場合は 576 ～ 1492 の間で入力します。【初期値：1454】
サブセッションを使用する	サブセッションを使う場合は、チェックを付けます。

- 以降の詳細設定の説明は、IP アドレス自動設定時の画面を使用しています。IP アドレス固定設定または PPPoE 認証設定時の画面とは内容が異なる場合があります。ご使用の設定を確認の上、設定してください。

3 LAN 設定

LAN 接続に関する設定を行います。

（1）IP アドレス設定（ルータモード）

■IP アドレス設定

項目	説明
IP アドレス	本製品の LAN 用 IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクが表示されます。 【初期値：255.255.255.0】

■DHCP サーバー

項目	説明
DHCP サーバー	本製品を DHCP サーバーとして使用する場合、「有効」を選択します。
リース時間	DHCP で IP アドレスを提供するときのリース時間を入力します。【初期値：1 日】
開始 IP 終了 IP	ルータモードの場合、ホームゲートウェイが DHCP サーバーとして機能し、LAN 側のパソコンに自動的にアドレスを配布します。配布 IP アドレスの範囲を、開始および終了 IP で指定します。 【初期値：192.168.126.100 ～ 192.168.126.254】

(2) IP アドレス設定（AP モード）

項目	説明
IP アドレスを DHCP から取得する	チェックを付けると DHCP が有効になります。固定 IP アドレスを使用する場合は、チェックを外して以降の設定を行います。【初期値：有効】
IP アドレス	本製品の LAN 用 IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。
DNS サーバー	DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

(3) DHCP

■DHCP クライアントテーブル

DHCP サーバー（本製品）によって割り当てられたクライアント（接続機器）の IP アドレスを表示します。複数のクライアントを設定した場合は、クライアントごとの情報が表示されます。

項目		説明
IP アドレス		クライアントに割り当てられた IP アドレスを表示します。
MAC アドレス		クライアントに割り当てられた MAC アドレスを表示します。
リース残り時間		IP アドレスを開放し、再取得するまでの時間を表示します。
更新		クリックすると、DHCP クライアントテーブルの情報が更新されます。
固定 DHCP IP を有効にする		チェックを付けると、IP アドレスを固定にできます。
	IP アドレス／MAC アドレス（固定）	前項でチェックをつけた場合、固定 IP アドレス、MAC アドレスを入力します。MAC アドレスは「1234567890ab」のように連続した 12 桁の半角英数字で入力してください。
	追加	クリックすると、入力した固定 IP アドレスの情報を、下の「現在の固定 DHCP テーブル」に追加します。
	リセット	クリックすると、入力した情報をクリアします。
現在の固定 DHCP テーブル		登録されている固定 IP アドレスを一覧表示します。
	IP アドレス／MAC アドレス（固定）	登録されているアドレス情報を表示します。
	選択	テーブルに登録されている固定 IP アドレスの設定を削除するときに、チェックを付けます。
	選択して削除	クリックすると、選択している固定 IP アドレスをテーブルから削除します。
	全て削除	クリックすると、テーブルからすべての固定 IP アドレスを削除します。
	リセット	クリックすると、削除を取り消します。

4 無線 LAN 設定

無線 LAN に関する設定を行います。

(1) 基本設定

無線 LAN の基本設定を行います。

項目	説明
無線 LAN	無線 LAN を使用するときは「有効」、使用しないときは「無効」を選択します。【初期値：有効】
SSID1	SSID の名前を指定（変更）します。
オートチャンネル	無線 LAN のチャンネルを通信に最適な値に設定します。「無効」を選択すると、チャンネル設定が表示されます。【初期値：有効】
チャンネル	オートチャンネル設定で「無効」を選択した場合、チャンネル番号を指定します。

(2) 暗号化

無線 LAN のセキュリティ設定を行います。

• 無線 LAN への不正なアクセスを防止するため、暗号化設定を行うことをおすすめします。

項目	説明
SSID の選択	基本設定で指定した SSID の名前が表示されます。
SSID 通知	SSID を通知するときは「有効」、通知しないときは「無効」を選択します。【初期値：有効】
WMM	WMM 機能を設定します。【初期値：有効（固定)】
暗号化	暗号化方式を設定します。【初期値：WPA-PSK（固定)】
キーの更新間隔	グループキーの更新間隔を指定します。【初期値：1800 秒】
WPA の種類	暗号化を行う種類を選択します。 【初期値：WPA/WPA2（AES)】
キーの種類	キーの種類を設定します。【初期値：ASCII 文字】
暗号キー	暗号文字列を入力します。キーの種類により入力できる文字列が異なります。 ・「ASCII 文字」の場合 8 ～ 64 文字の半角英数字で指定します。大文字・小文字は区別されます。 ・「16 進数（64 文字)」の場合 数字「0 ～ 9」および英字「A ～ F、a ～ f」で指定します。

• 暗号キーは、無線 LAN で接続するパソコンを設定するときに必要です。メモしておいてください。

(3) 詳細設定

- この画面で設定する内容は、無線 LAN について十分な知識を持っている上級者向け設定です。

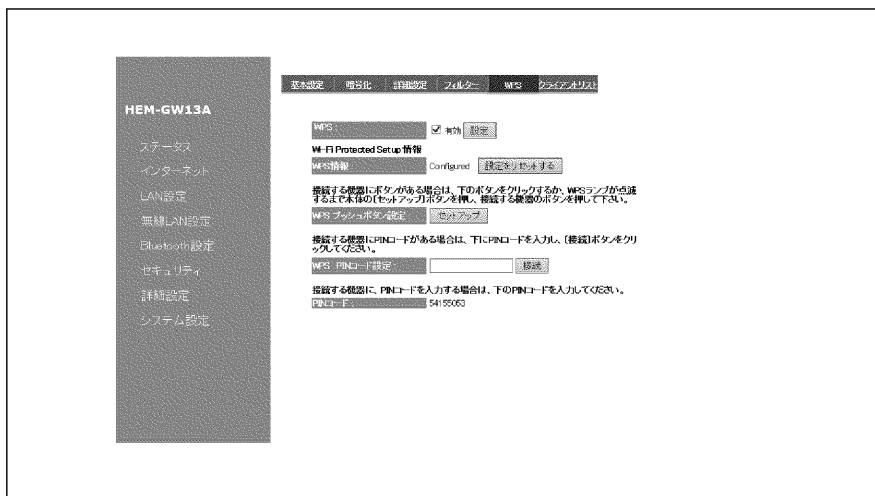
項目	説明
RTS スレッショルド	設定した値よりも大きいパケットを送信する場合に、RTS（送信要求）を行います。この設定値を小さくすると RTS は増えますが、通信効率が上がる場合があります。【初期値：2347】
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。この設定値を小さくすると通信品質は上がりますが、他機器との干渉が大きくなります。【初期値：100】
DTIM 周期	無線 LAN パソコンからの応答間隔を指定します。この設定値を小さくすると、他機器との干渉は少なくなりますが、通信品質は下がります。【初期値：1】
使用する帯域	使用する帯域を選択します。【初期値：20MHz】
送信出力	本製品の通信出力を設定します。

（4）フィルター

アクセスポイントに接続できるクライアントを、MAC アドレスを使ってフィルタリングします。

- MAC アドレスフィルタリングを有効にする場合は、WPS 機能を無効にしてください。
  WPS 機能の設定方法は、52 ページ「（5）WPS」をご覧ください。

項目	説明
MAC アドレスフィルタリング有効	フィルタリングを有効にする場合は、チェックを付けます。有効にする場合は、以降の設定を行います。
説明	接続するクライアントを識別する説明を入力します。
MAC アドレス	接続するクライアントの MAC アドレスを入力します。
追加	クリックすると、入力したクライアントの情報を、下の「MAC アドレスフィルタリングテーブル」に追加します。
リセット	クリックすると、入力した情報をクリアします。
MAC アドレスフィルタリングテーブル	登録されている接続可能クライアントを一覧表示します。
説明／MAC アドレス	登録されているクライアント情報を表示します。
選択	テーブルに登録されているクライアントの設定を削除するときにチェックを付けます。
選択して削除	クリックすると、選択しているクライアントの設定をテーブルから削除します。
全て削除	クリックすると、テーブルからすべてのクライアントの設定を削除します。
リセット	クリックすると、削除を取り消します。

(5) WPS

項目	説明
WPS	有効にする場合はチェックを付けます。【初期値:有効】[設定]をクリックすると、以降の WPS の設定が登録されます。
WPS 情報	WPS の状態を表示します。[設定をリセットする]をクリックすると、unConfigured(未設定)状態になります。
WPS プッシュボタン設定	[セットアップ]をクリックすると、WPS の自動接続を行います。処理には約 2 分かかります。本体右側面の WPS ボタンを押したときと同じ状態になります。正常に接続できると、「WPS 情報」は Configured 状態になります。
WPS PIN コード設定	PIN コードを入力して[接続]をクリックすると、接続処理を行います。
PIN コード	本製品の PIN コードを表示します。

- 本製品と接続する機器の側で PIN コードを入力する場合は、「PIN コード」に表示されるコードを入力してください。

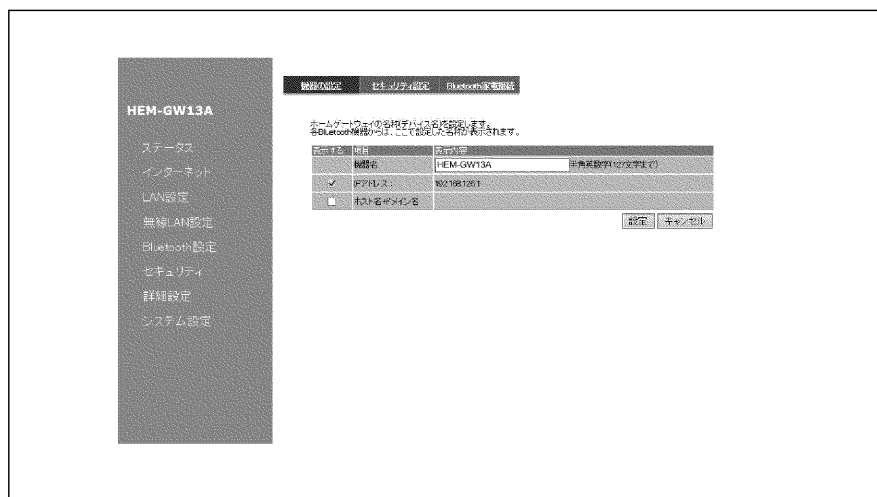
(6) クライアントリスト

項目	説明
無線 LAN クライアントテーブル	本製品に接続しているクライアントの MAC アドレスを表示します。

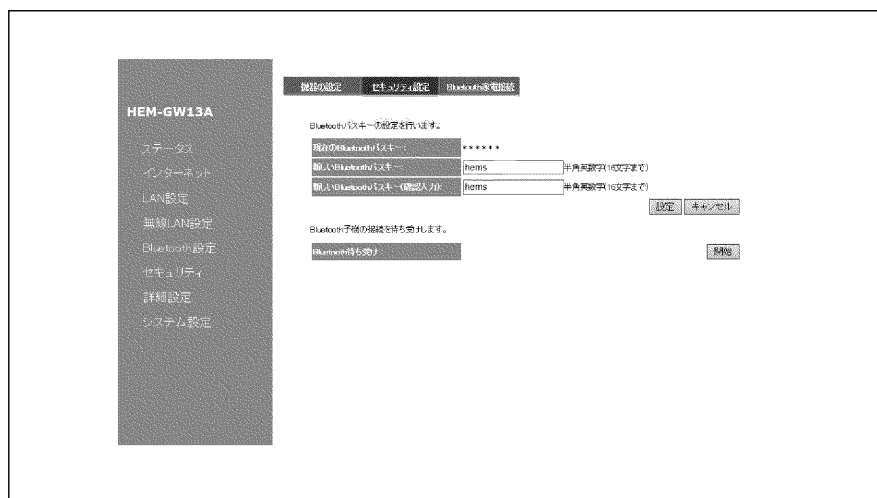
5 Bluetooth 設定

Bluetooth 接続を使う場合に必要な設定を行います。

(1) 機器の設定

本製品の名称（デバイス名）を設定します。接続先の Bluetooth 機器には、ここで設定した名称が本製品の識別名として表示されます。

項目	説明
表示内容	本製品の機器名、IP アドレス、ホスト名 + ドメイン名が表示されます。 機器名は変更できます。 「表示する」にチェックを付けた項目が、接続先の Bluetooth 機器に表示されます。 IP アドレスは、LAN 側アドレスと同じアドレスになります。必ず表示されます。

(2) セキュリティ設定

パスキーは、Bluetooth 接続するときに相手先を確認する認証機能です。

項目	説明
現在の Bluetooth パスキー	設定内容は、安全上伏字（*）で表示されます。
新しい Bluetooth パスキー	新しく設定するパスキーを、16 文字までの半角英数字で入力します。確認入力欄には同じパスキーを再度入力します。
新しい Bluetooth パスキー（確認入力）	
Bluetooth 待ち受け	［開始］をクリックすると、子機からの接続待ち受けを開始します。元の画面に戻ると、待ち受けは終了します。

（3）Bluetooth 家電接続

本製品と Bluetooth 家電との接続を行います。

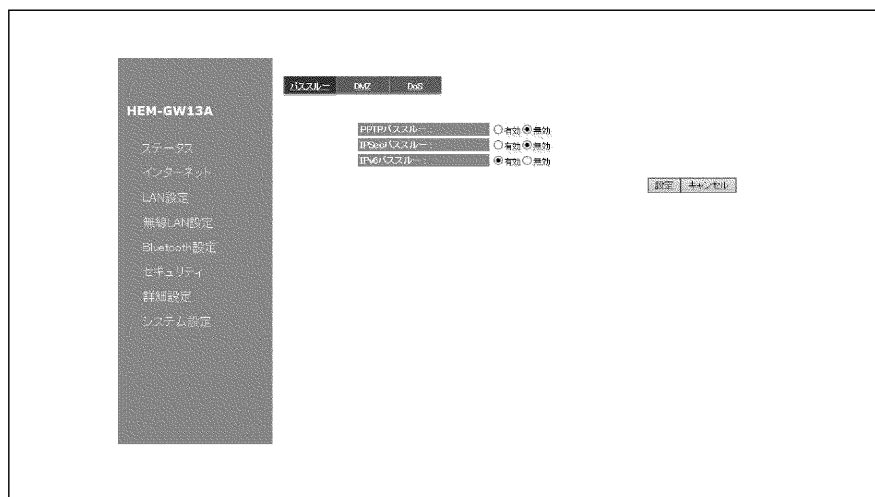
項目	説明
Bluetooth 家電の検索	クリックすると、下部に接続可能な Bluetooth 家電の情報が表示されます。
接続	クリックすると、接続処理を行います。

項目	説明
初期登録コード	初期登録コードを設定します（一部家電の場合）。
接続	クリックすると、接続処理を行います。

6 セキュリティ

各種ネットワークのセキュリティ機能を設定します。

(1) パススルー

本製品では 3 つのパススルー機能があります。

項目	説明
PPTP パススルー	有効、無効を選択します。【初期値：無効】
IPSec パススルー	有効、無効を選択します。【初期値：無効】
IPv6 パススルー	有効、無効を選択します。【初期値：有効】

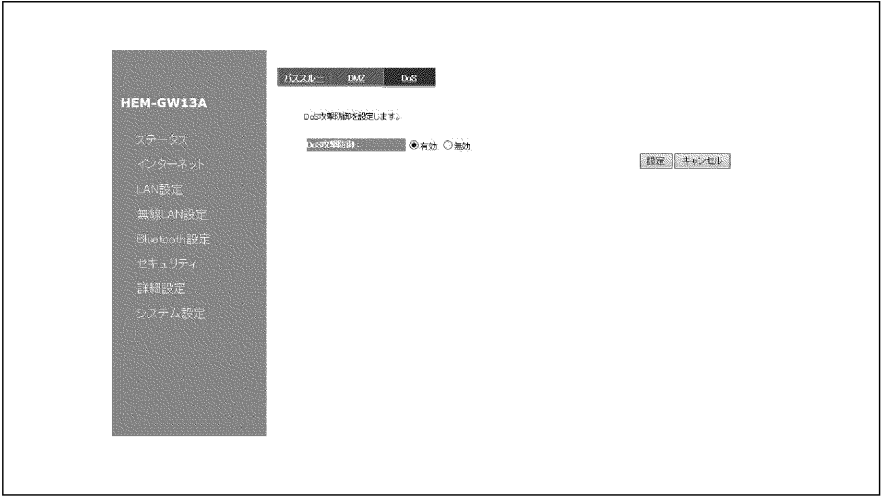
(2) DMZ

有効にすると、インターネット上に DMZ ホストによるサービスを提供できます。

- この機能を有効にすると、LAN への不正アクセス等の外部からの侵入を防止することができなくなります。

項目	説明
DMZ を有効にする	チェックを付けると、DMZ 機能が有効になります。 【初期値：無効】
ローカル IP アドレス	この機能を有効にするパソコンの IP アドレスを入力します。右側のリストからパソコンを選択すると、簡単にローカル IP アドレスを設定できます。

(3) DoS

DoS 攻撃の防御を設定します。

項目	説明
DoS 攻撃防御	有効か無効かを選択します。【初期値：有効】

7 詳細設定

（1）ポートの開放

本製品に接続しているネットワーク機器を、公開します。
ネットワークゲーム、ネットワークカメラ、サーバー等を公開する場合に設定します。

項目	説明
ポートの開放を有効にする	チェックを付けると、以降の設定でポートを開放します。【初期値：無効】
設定名	公開機器を識別するための名称を入力します。
公開する機器の IP アドレス	公開機器の IP アドレスを入力します。
プロトコル	使用プロトコルを TCP、UDP、両方から選択します。
LAN 側ポート番号	インターネット上から見えるポート番号を入力します。
インターネット側ポート番号	インターネットに公開するポート番号を入力します。
追加	クリックすると、入力したポートの情報を、下の「ポートの開放一覧」に追加します。
リセット	クリックすると、入力した情報をクリアします。

項目	説明
ポートの開放一覧	登録されている開放ポートの情報を表示します。
選択	テーブルに登録されているポートの設定を削除するときにチェックを付けます。
選択して削除	クリックすると、選択しているポートの設定をテーブルから削除します。
全て削除	クリックすると、テーブルからすべてのポートの設定を削除します。
リセット	クリックすると、削除を取り消します。

(2) UPnP

項目	説明
UPnP	有効か無効かを選択します。【初期値：有効】
UPnP ポートマップステータス	UPnP の状態を表示します。[ルーター状態の確認]ボタンをクリックすると、情報が更新されます。
UPnP ポートマップ設定	有効にすると、上位のルーターのポートマップ状態を変更するメッセージを送ります。【初期値：有効】

8 システム設定

(1) パスワード設定

本製品にアクセスするためのパスワードを変更できます。

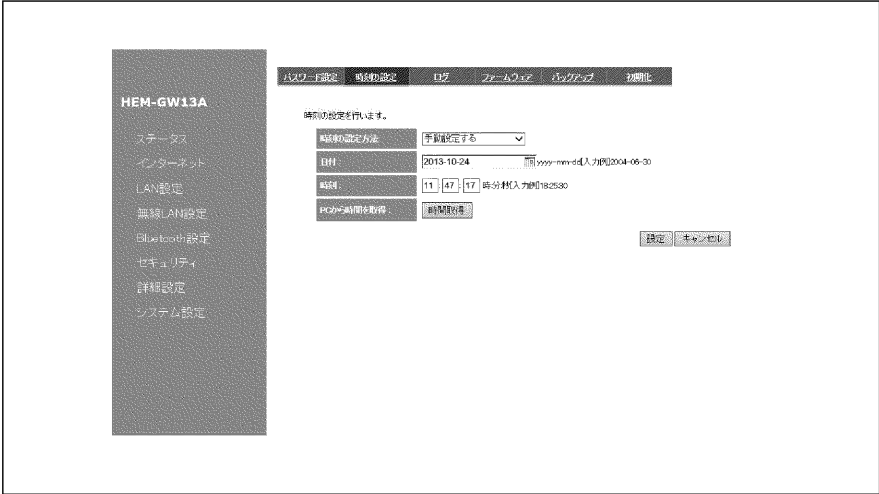
項目	説明
ログイン名	管理者用のログイン名を設定します。【初期値：root】
現在のパスワード	現在使用しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しく使用したいパスワードを入力します。
パスワード再入力	新しいパスワードを確認のためにもう 1 度入力します。
設定	クリックすると、パスワード変更を実行します。

(2) 時刻の設定

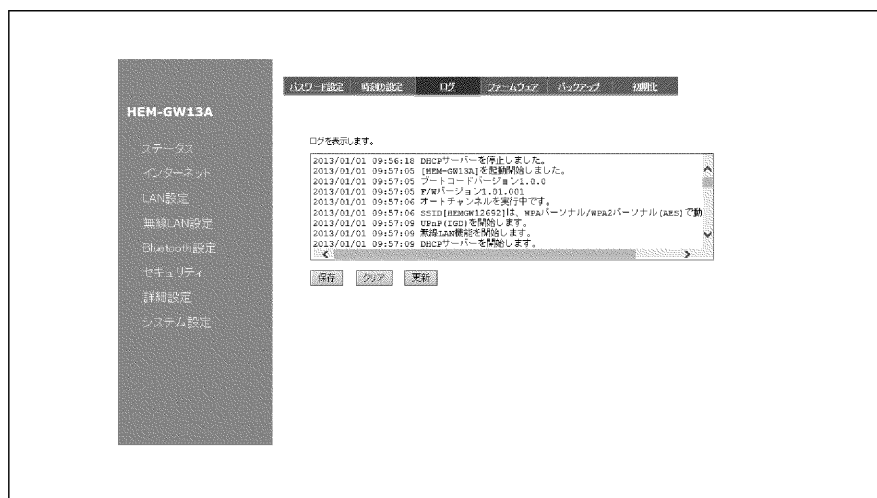
時刻を設定します。
NTP サーバーと同期をとる方法と、手動で設定する方法があります。

■ NTP サーバーと同期をとる

項目	説明
時刻の設定方法	「NTP サーバーとの同期」を選択します。
NTP サーバー	同期を取るサーバーを指定します。
設定	クリックすると、指定の方法で設定されます。

■ 手動で設定する

項目	説明
時刻の設定方法	「手動設定する」を選択します。
日付	年月日を入力します。カレンダーから選択することもできます。
時刻	時刻を入力します。
PC から時間を取得	設定を行っているパソコンから時間設定を取得する場合にクリックします。
設定	クリックすると、設定した内容で時刻が設定されます。

(3) ログ

ログ情報を表示します。ログはファイルに保存することができます。

項目	説明
保存	ログ情報をファイルに保存します。
クリア	ログ情報をクリアします。
更新	ログ情報の表示内容を更新します。

（4）ファームウェア

ファームウェアを手動更新します。

• ファームウェア自動更新の設定は、94 ページ「6 ファームウェア自動更新機能」をご覧ください。

■ 手動更新の操作

1 ファームウェアファイルを入手する

以下の URL から最新のファームウェアファイルをダウンロードします。

http://feminity.toshiba.co.jp/

ダウンロードしたファイルは、作業を行うパソコン上に解凍してください。

2 パソコンと本製品の LAN コネクタを LAN ケーブルで接続する

ファイルを保存したパソコンと本製品をLANケーブルで接続します。

• ファームウェアの更新は有線 LAN で接続した状態で行ってください。
また、パソコンで常駐アプリケーションが動作している場合は、一時的に常駐を解除してください。
常駐アプリケーションは、タスクトレイのアイコンを右クリックして終了できます。

3　設定画面を表示する

ホームゲートウェイのトップ画面から設定画面を表示し、ファームウェア画面を表示させます。

4　ファームウェアファイルを選択し、実行する

［参照］ボタンをクリックし、ファームウェアファイルを選択します。ファームウェア画面の［更新］ボタンをクリックすると、更新が開始されます。

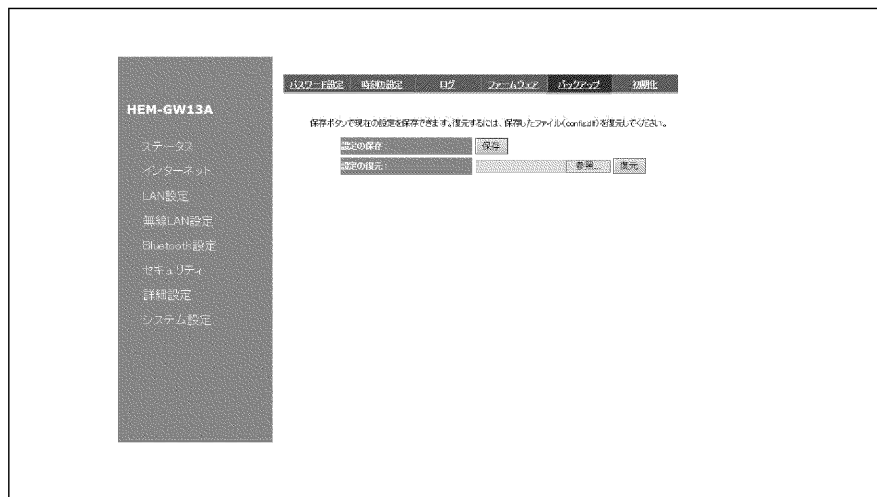
・更新処理中は、絶対に本製品および接続しているパソコンの電源を切らないでください。故障の原因になります。

更新が完了すると、自動的に本製品は再起動されます。

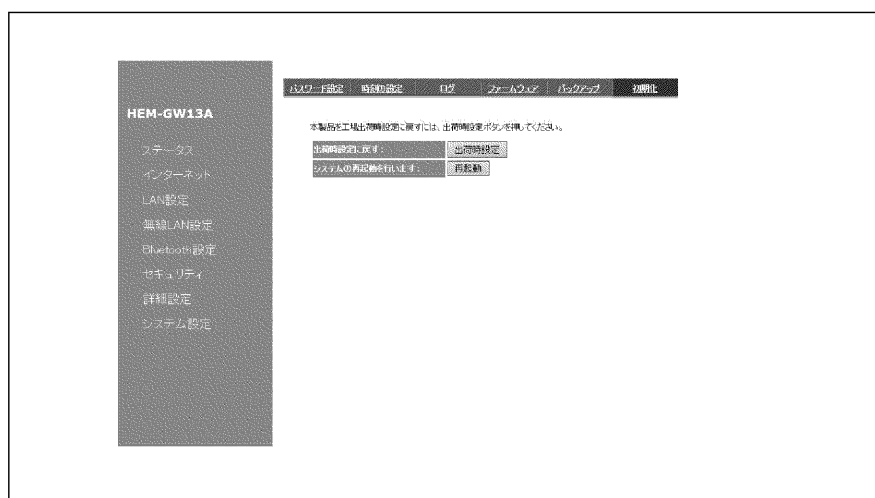
5　ファームウェアバージョンを確認する

設定画面のステータス画面で、ファームウェアバージョンが更新されていることを確認します。

(5) バックアップ

現在設定されている内容の保存と、保存している設定内容の復元ができます。

項目	説明
設定の保存	現在の設定内容をファイル「config.dlf」に保存します。
設定の復元	「config.dlf」ファイルから保存している設定情報を読み込んで復元します。

(6) 初期化

設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、システムの再起動を行うことができます。

項目	説明
出荷時設定に戻す	本製品の各種設定の内容を、出荷時の設定状態に戻します。
システムの再起動を行います	本製品の再起動を実行します。

- 製品の再起動には数分かかる場合があります。

4

機器をコントロールする

ホームゲートウェイのホーム画面から、家電や給湯設備などの接続設定や使用状況コントロールができます。

2013年11月1日現在の対応機器は以下の通りです。

・エアコン
・照明
・給湯
・蓄電池
・エネルギー計測ユニット

家電等機器の対応状況により、画面は変更される場合があります。
本サービスが対応している家電等機器および機種についての詳細は、以下のURLにてご確認いただけます。

http://feminity.toshiba.co.jp/

1　ホーム画面

ホーム画面の表示方法は 33 ページ「4 ホームゲートウェイの設定画面を表示する」をご覧ください。

クリックすると、フェミニティ倶楽部画面が表示されます。

機器タブ
クリックすると、各機器のコントロール画面が表示されます。

FEMINITY

ホーム　エアコン　照明　給湯　蓄電池

2013年10月15日　12:01

使っている電力
1500W

買ったエネルギー量
電気 10.000 kWh
水道 0.100 m³
ガス 0.050 m³

今の発電状況	
太陽光発電	1000 w
燃料電池	200 w
蓄電池の残量	
	100 %

電力使用1-5	
1.リビング	300 w
2.キッチン	200 w
3.子供部屋	100 w
4.寝室	100 w
5.エアコン	500 w

エアコン 2　照明 2　給湯 貯湯中　蓄電池 待機中　設定

Copyright©2013 TOSHIBA Lighting & Technology Corporation, All Rights Reserved.

機器ボタン
稼動している機器の台数や稼動状況がボタンに表示されます。クリックすると、各機器のコントロール画面が表示されます。

設定ボタン
クリックすると、設定画面が表示されます。ここから各機器の設定やメンテナンス、ルータの設定ができます。

• フェミニティ倶楽部のご利用は有償です。また、インターネットに接続している必要があります。

2 家電を接続する

家電の接続設定は、接続画面で行います。

■ 接続画面の表示

1 ホーム画面または各機器のコントロール画面で ボタンをクリックする

設定画面が表示されます。

2 エネルギー計測ユニットの場合、［新規登録・登録解除］ボタンをクリックする

他の機器の場合は、左のメニューから機器を選択する

- エネルギー計測ユニット（エネルギーモニター）はコントロール画面がないため設定画面から接続画面を表示します。

新規登録と登録解除の方法は各機器とも同じです。ここではエネルギー計測ユニット（エネルギーモニター）の画面を例に説明します。

（1）新規登録をする

1　設定画面の［新規登録・登録解除］ボタンをクリックする

現在登録可能な機器が一覧表示されます。

- 一覧の上段には登録済みの機器が表示されます。

2　登録する機器の［登録］ボタンをクリックする

- 登録したい機器が一覧に表示されない場合は、［再検索］ボタンをクリックして一覧を更新してください。

1 台のホームゲートウェイに接続可能な Bluetooth 機器は合計 7 台までです。また、登録できる台数には上限があり、上限は機器により異なります。

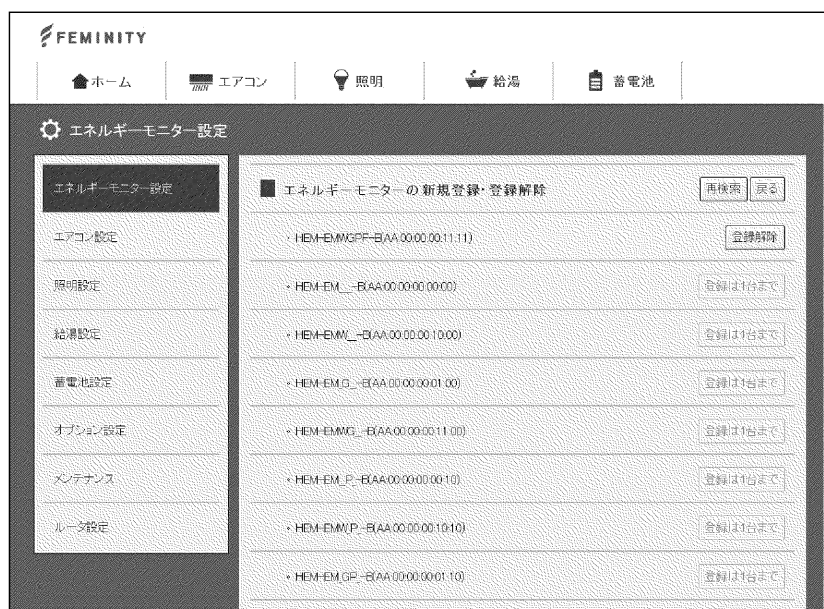
- エネルギー計測ユニット　1 台
- エアコン　4 台
- 照明　4 台
- 給湯機　1 台
- 蓄電池　1 台

上限を超える機器を登録することはできません。登録機器を変更する場合は、不要になる機器を登録解除してから新規登録を行ってください。

(2) 登録を解除する

1 設定画面の［新規登録・登録解除］ボタンをクリックする

機器一覧が表示されます。

2 登録を解除する機器の［登録解除］ボタンをクリックする

(3) 設置場所を指定・変更する

設定した機器が設置されている場所を指定・変更します。

- 設置場所を指定しない場合、コントロール画面には機器名が表示されます。

---

1 設定画面の一覧から設置場所情報を変更する機器の［変更］ボタンをクリックする

設置場所名変更画面が表示されます。

2 設定する設置場所名のボタンをクリックする

- ボタン群に設置場所名がない場合は､「設置場所名」を入力して［その他（自由記述)］ボタンをクリックすると、入力した名称で設定できます。

元の画面に戻ります。

（4）モニターの感度を設定する

エネルギー計測ユニット（エネルギーモニター）だけに必要な設定です。
水道、ガスの使用量をモニタリングする感度を設定します。

1 エネルギーモニター設定画面で、水道またはガスの［変更］ボタンをクリックする

感度設定画面が表示されます。

2 設定する感度レベルのボタンをクリックする

元の画面に戻ります。

3 家電をコントロールする

ホーム画面の機器タブをクリックすると、それぞれの機器のコントロール画面が表示されます。コントロール画面では機器の ON ／ OFF や、温度などが設定できます。

（1）エアコン

(2) 照明

機器選択
コントロールしたい照明をクリックして選択します。

明るさ調節
照明の明るさを調節します。

FEMINITY

ホーム　エアコン　照明　給湯　蓄電池

機器選択

台所 OFF
リビング ON
LEDD-40-EC OFF
LEDH-30-BT OFF

消灯　全光

常夜灯　㊤㊤㊤

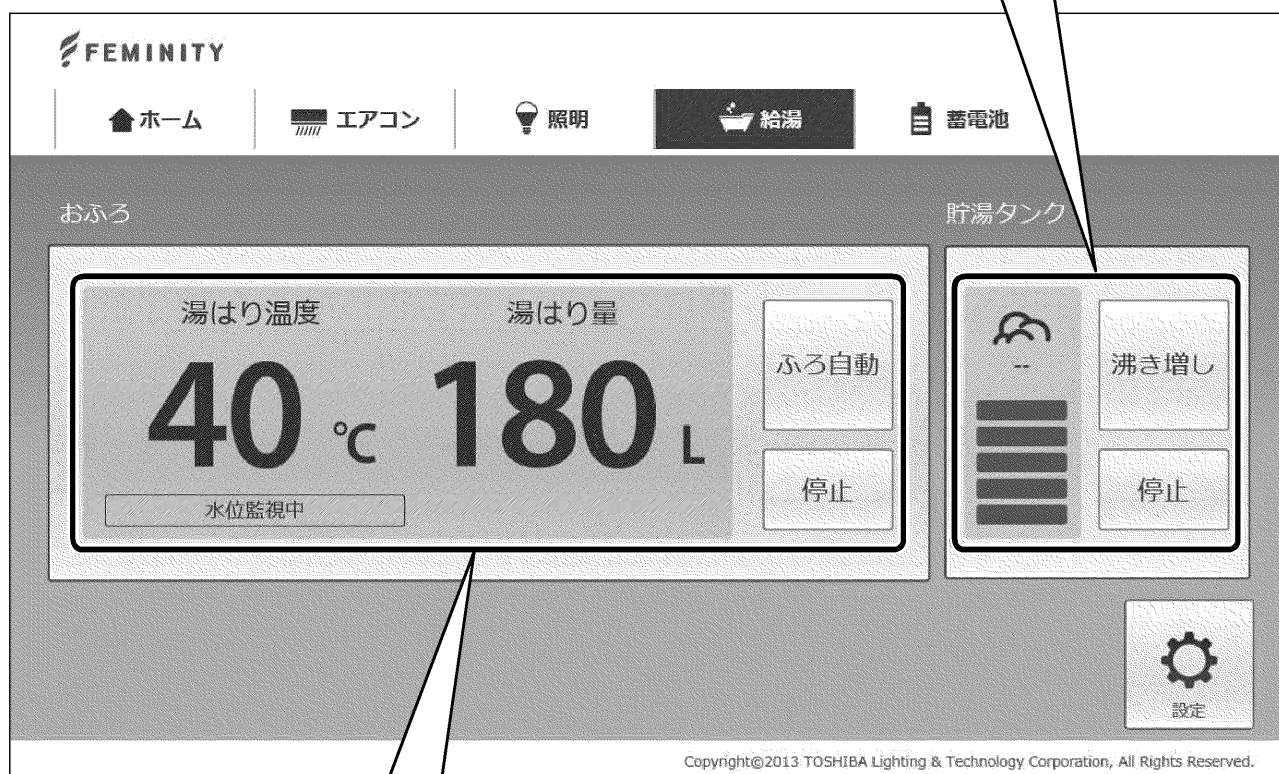
設定

常夜灯
常夜灯を点灯する場合にクリックします。

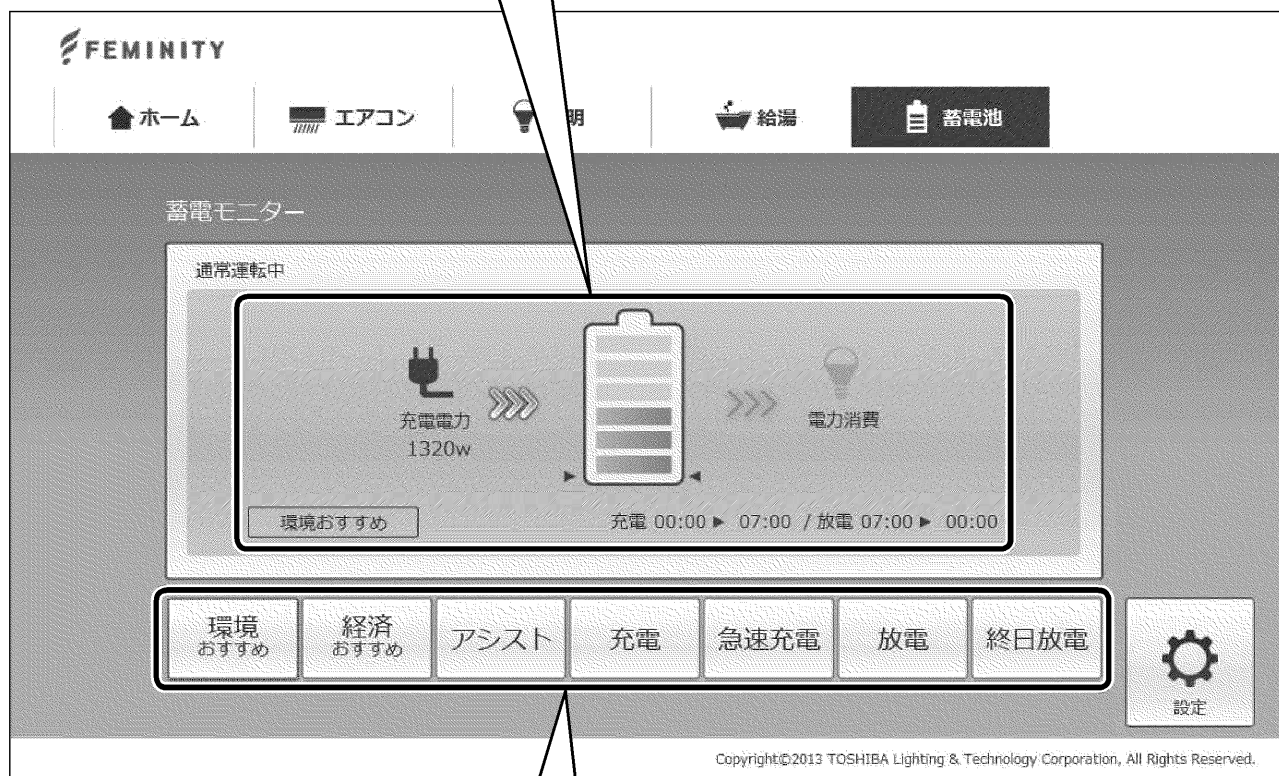
楽エコ
楽エコを有効にする場合にクリックします。

- お使いの照明機器によっては、「常夜灯」や「楽エコ」の機能に対応していない場合があります。詳しくは照明の取扱説明書をご覧ください。

(3) 給湯

貯湯タンクコントロール
［沸き増し］ボタンをクリックすると、タンク内でお湯を沸かします。貯湯量は左側のゲージに表示されます。
［停止］ボタンをクリックすると、沸き増し運転を停止します。

おふろコントロール
［ふろ自動］ボタンをクリックすると、おふろを設定の温度・湯量で沸かします。運転中は、湯はり温度と湯はり量の設定、運転状況が表示されます。
［停止］ボタンをクリックすると、おふろの運転を停止します。
給湯専用の機器をご使用の場合､｢湯はり温度｣｢湯はり量｣の数値は「－－」と表示されます。また、［ふろ自動］ボタンは表示されません。

（4）蓄電池

蓄電池状態
蓄電池の充電状況と設定状態が表示されます。

蓄電池コントロール
蓄電池の運転モードを切り換えます。
運転モードの詳細は使用機器の取扱説明書をご覧ください。

5 オプション設定とメンテナンス

設定画面から行うオプション設定と、メンテナンス処理について説明します。

1 オプション設定画面を開く

1 設定画面左側のメニューから［オプション設定］をクリックする

オプション設定画面が表示され、各項目の現在の設定状態が表示されます。
設定を変更する場合は、各項目の［変更］ボタンをクリックし、表示される画面で行います。

2 プロキシ設定

プロキシの設定を変更できます。

プロキシを使用する場合は、アドレスとポートを入力し、［登録］ボタンをクリックします。

3 家電コントロール機能

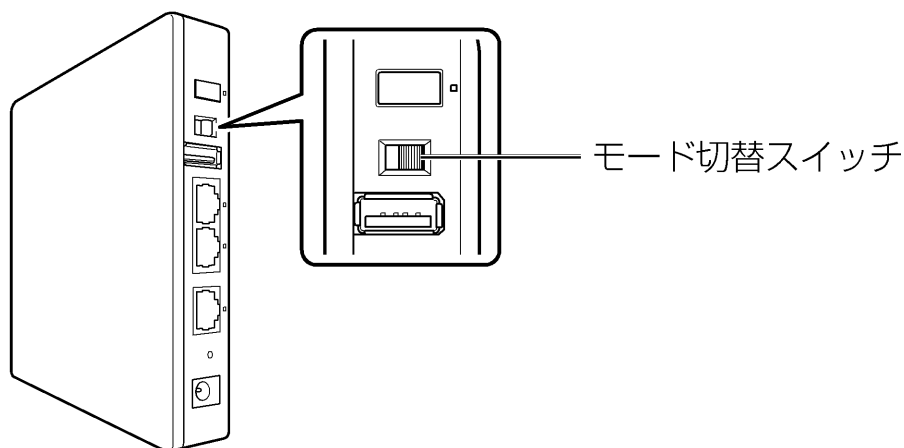
家電コントロール機能の使用・不使用を設定します。

本製品から家電をコントロールする場合や、フェミニティ倶楽部をご利用になる場合は、「使用する」に設定してください。

4 複数ホームゲートウェイ

複数のホームゲートウェイを設置し､本製品を｢子のホームゲートウェイ｣として AP モードで使用する設定をします。設定画面での設定後、本体の操作などが必要です。
ここでは、2 台の本製品を使って構築する場合を例に接続方法、設定手順を説明します。

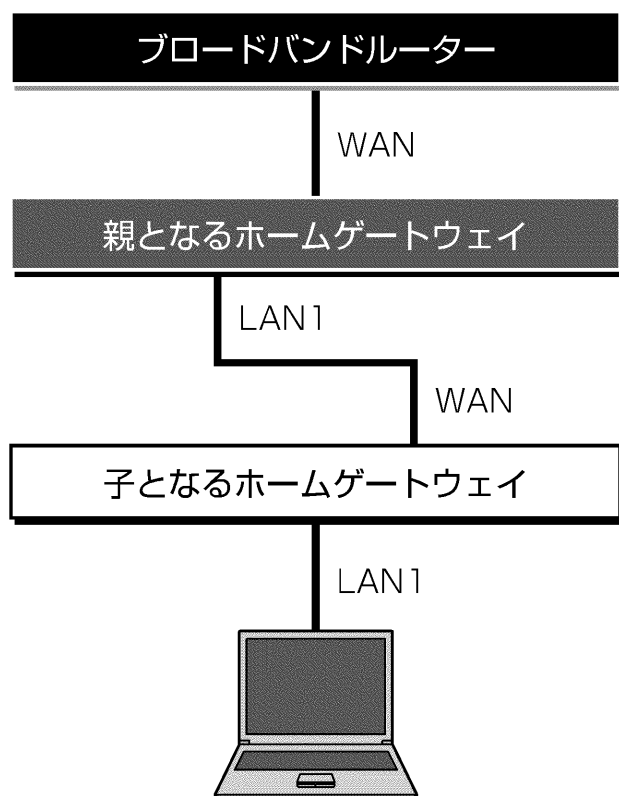
（1）事前準備

1 親となるホームゲートウェイがルータモードになっていることを確認し、電源を ON にする

2 親となるホームゲートウェイにログインする

3 設定画面から「ルータ設定」→「LAN 設定」を選択し、以下のように設定されていることを確認する

4 設定画面を終了し、ホームゲートウェイの電源を OFF にする

(2) 機器の接続

親となるホームゲートウェイ、子となるホームゲートウェイとも、電源が入っていない状態で接続します。
接続形態は以下の図を参照してください。

(3) 子となるホームゲートウェイの設定

• 最初は、ルータモードで設定を始めます。

1 子となるホームゲートウェイの電源を ON にする

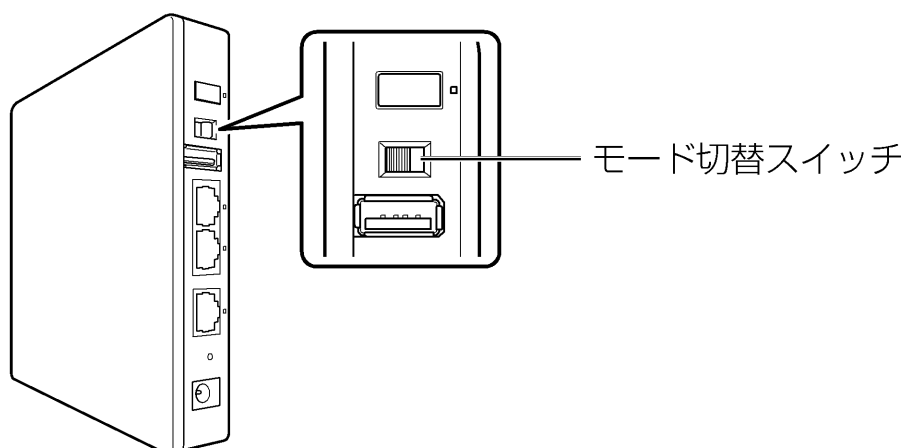
2 子となるホームゲートウェイにログインする

3 設定画面から「オプション設定」→「複数ホームゲートウェイ設定」を選択する

4 「子のホームゲートウェイとして」[使用する] ボタンをクリックする

現在のオプション設定画面に戻ります。「子として設定中」と表示されていることを確認します。

5 親となるホームゲートウェイの電源を ON にする

6 子となるホームゲートウェイを AP モードに切り換え、再起動する

（4）設定の確認

子となるホームゲートウェイに接続しているパソコンから、親となるホームゲートウェイと子となるホームゲートウェイの設定状態を確認します。

1 親となるホームゲートウェイにログインする

2 設定画面から「オプション設定」を選択する

3 「現在のオプション設定」の「複数ホームゲートウェイ設定」を確認する

親となるホームゲートウェイの動作状況と、接続している子となるホームゲートウェイの情報が確認できます。

• 子となるホームゲートウェイの情報が確認できない場合は、設定画面 (ブラウザ) を終了し、親となるホームゲートウェイの電源と接続を確認してください。約 2 分待ってから、もう 1 度設定画面を表示させてください。

4 「< 子 1>」に表示されている IP アドレスのリンクをクリックする

ログインすると、子となるホームゲートウェイのホーム画面が表示されます。

5 設定画面から [オプション設定] を選択する

6 子となるホームゲートウェイの動作状況と、接続している親となるホームゲートウェイの情報を確認する

（5）複数ホームゲートウェイ設定時のホーム画面

複数ホームゲートウェイ設定時に本製品から家電をコントロールする場合やフェミニティ倶楽部をご利用になる場合は、親となるホームゲートウェイにログインして使います。子となるホームゲートウェイから使うことはできません。

1 親となるホームゲートウェイにログインする

ホーム画面が表示されます。

• 親子関係が正しく設定されていない場合、ホーム画面が表示されません。この場合は、設定を最初からやり直してください。

5 遠隔監視機能

遠隔監視機能とは、ホームゲートウェイの動作情報をフェミニティサーバに通知するものです。
遠隔監視機能の使用・不使用を設定します。

このメニューはフェミニティ倶楽部に登録している場合に表示されます。

• フェミニティ倶楽部のご利用は有償です。

6 ファームウェア自動更新機能

ファームウェア自動更新機能の使用・不使用を設定します。

このメニューはフェミニティ倶楽部に登録している場合に表示されます。このメニューを使用する場合は、フェミニティ倶楽部の設定画面から「ソフトウェア自動更新設定」もあわせて設定してください。

- フェミニティ倶楽部のご利用は有償です。
- ファームウェアの手動更新は、66 ページの「(4) ファームウェア」をご覧ください。

7 メンテナンス画面を開く

1 設定画面左側のメニューから［メンテナンス］をクリックする

メンテナンス画面が表示されます。

- メンテナンス画面からは、ネットワークが正しく機能しているか等の確認ができます。
  この画面の機能は、「東芝ライテック照明ご相談センター」へのお問い合わせ時に操作指示があった場合にご使用ください。

フェミニティ倶楽部への接続

フェミニティ倶楽部は、機器の操作や様々な情報を提供する会員制のインターネットサイトです。

- フェミニティ倶楽部のご利用は、有償です。また、インターネットに接続している必要があります。
- フェミニティ倶楽部への会員登録、設定方法は、別冊『フェミニティ倶楽部セットアップガイド』をご覧ください。
- フェミニティ倶楽部の画面は予告なく変更されることがあります。

1 フェミニティ倶楽部への接続

1 ホームゲートウェイのホーム画面で、FEMINITY ロゴをクリックする

(1)「初期画面 TOP」画面

初めてフェミニティ倶楽部に接続した場合は、「初期画面 TOP」画面が表示されます。
新規会員登録を行ってください。

(2)「フェミニティ倶楽部」画面

2 回目以降の接続では、「フェミニティ倶楽部」画面が表示されます。
機器操作など、フェミニティ倶楽部の機能を使えます。

7 困ったときは

ここでは、ホームゲートウェイの使用中のトラブルについて、考えられる原因と、対処方法を説明します。

トラブルの中には、装置の故障ではない場合もあります。「故障かな？」と思う前に、本章の内容をよくお読みください。

1 設置時のトラブル

Q. 電源が入らない（電源 LED が点灯しない）

A. AC アダプタが正しく接続されていない可能性があります。以下の点をご確認ください。

- ・AC アダプタがコンセントに差し込まれているか
- ・AC アダプタのコネクタが、本体側面の電源コネクタに差し込まれているか

Q. WAN/LAN LED が消灯している

A. ネットワークに正常に接続されていません。以下の点をご確認ください。

- ・ホームゲートウェイ側面の WAN コネクタと各種モデム装置やブロードバンドルータの LAN ポートが、LAN ケーブルで接続されているか
- ・各種モデム装置やブロードバンドルータの電源は入っているか
- ・本体の電源は入っているか

2 設定時のトラブル

Q. 設定画面にログオンするためのパスワードを忘れてしまった

A. 115 ページ「4 リセットスイッチによる初期化」を参照し、パスワードとLAN 設定の初期化をしてください。
パスワードがお買い上げの状態に戻ります。
その後、新しいパスワードを設定しなおしてください。
→ 62 ページ「8 システム設定」

Q. Bluetooth 搭載のパソコンで、本装置を検出できない

A. パソコンと本装置を Bluetooth で接続する場合には、本装置の設定を変更する必要があります。
以下の手順で設定画面を表示し、Bluetooth の待ち受け設定を開始してください。

① システム設定のトップ画面で右下にある［設定］ボタンをクリックする
② 画面左側のメニューの［ルータ設定画面］を選択する
③ 画面左側のメニューの［Bluetooth 設定］を選択する
④ 画面上側のメニューの［セキュリティ設定］を選択する
⑤ 画面右下の［開始］ボタンをクリックする

Bluetooth の待ち受け設定を開始しても本装置を検出できない場合には、以下の点を確認してください。

・パソコンとホームゲートウェイの間に障害物はないか
・ホームゲートウェイの電源は入っているか
・パソコンで、Bluetooth を使用するためのソフトウェアなどは起動しているか
・パソコンで、Bluetooth アンテナの電波は ON になっているか 機器の種類によっては、スイッチでアンテナの電波を ON/OFF するものがあります
・パソコンで Bluetooth の設定が正しくされているか
・パソコンの Bluetooth アダプタの通信可能範囲内にあるか
・近くで、電子レンジや、他の通信機器が使用されていないか

Q. ホームゲートウェイの設定画面を表示できない

A. LAN の設定が正しく行われていない可能性があります。以下の点を確認してください。

・ホームゲートウェイ側面の LAN1 コネクタ（または LAN2 コネクタ）と、パソコンの LAN コネクタが、LAN ケーブルでしっかり接続されているか
・パソコンのネットワーク設定が正しくされているか
→ 25 ページ「（1）接続の準備をする」
・ブラウザで正しい IP アドレスを入力しているか

3 インターネット接続時のトラブル

Q. インターネットに接続できない

A. ネットワークが正常に動作していない可能性があります。以下の点を確認してください。

・ホームゲートウェイ背面のWANコネクタと各種モデム装置やブロードバンドルータのLANポートが、LANケーブルで接続されているか
・各種モデム装置やブロードバンドルータの電源は入っているか
・ホームゲートウェイの電源は入っているか
・各種モデム装置やブロードバンドルータはインターネットに正常に接続できているか
・ホームゲートウェイ側面のLAN1コネクタ（またはLAN2コネクタ）と、パソコンのLANポートが、LANケーブルでしっかり接続されているか
・パソコンのネットワーク設定が正しくされているか
→25ページ「（1）接続の準備をする」
・インターネットの接続設定が正しいか

A. ブラウザの設定が正しく行われていない可能性があります。以下の点を確認してください。

・インターネットへの接続にプロキシサーバを使用する設定になっていないか以下の手順で確認します（Internet Explorerの場合）。

①［ツール］メニューの［インターネットオプション］を選択する
②「インターネットオプション」画面の［接続］タブを選択する
③［ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定］の［LANの設定］ボタンをクリックする
④［プロキシサーバー］の「LANにプロキシサーバを使用する」にチェックが付いていないか確認する

チェックが付いており、［アドレス］と［ポート］が設定されている場合は、設定内容をメモしたうえで、チェックをはずしてください。

※ただし、CATVでインターネットに接続されている方は、プロキシサーバの設定が必要な場合があります。詳細はご加入のCATV事業者にお問い合わせください。

A. パソコンとホームゲートウェイをBluetoothで接続している場合は、Bluetoothでの接続・通信が正常に行われているか確認してください。

4　Bluetooth 接続時のトラブル

Q. Bluetooth で家電に接続できない

A. ネットワーク家電が、Bluetooth 接続可能な状態になっていない可能性があります。
ネットワーク家電の取扱説明書を参照し、Bluetooth 接続が可能な状態にしてください。

A. ネットワーク家電の台数が、ホームゲートウェイと同時に接続可能な数を超えている可能性があります。ホームゲートウェイと同時に接続可能な台数は 7 台です。使用していない家電との接続を切断するなどして、最大数以内におさめてください。

A. 正しい Bluetooth パスキーを入力してください。パスキーは大文字・小文字が区別されます。

5 運用時のその他のトラブル

Q. 正しいパスワードを入力しているはずなのに、設定画面にログオンできない

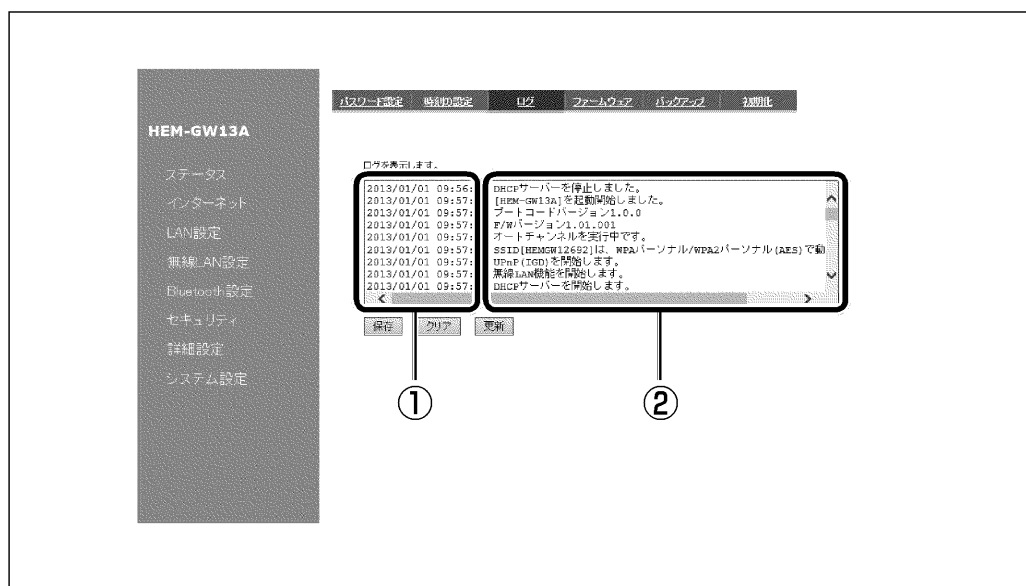
A. パスワードは、アルファベットの大文字、小文字を区別します。[CapsLock] キーがロックされていると、大文字で入力されます。

Q. ホームゲートウェイ本体が熱くなる

A. 本体は、使用中にある程度発熱します。紙や布などを本体にかけないようにしてください。
触れられないほど熱くなる、あるいは煙やにおいが出るなどの異常が起きた場合は、すぐ AC アダプタをコンセントから抜いてください。また、旅行や出張などで長期間ホームゲートウェイを使用しない場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。

付録

1 ログ（動作履歴の見方）

ホームゲートウェイのログの表示と、内容の見方について説明します。

①：ログが記録された日時
②：ログ内容
　　ログ内容は、次ページの表のようになります。

項目	説明
保存	ログ情報をファイルに保存します。
クリア	ログ情報をクリアします。
更新	ログ情報の表示内容を更新します。

（表示例）

表示	内容
[HEM-GW13A] を起動開始しました。	ホームゲートウェイが起動した日時を示します。
ブートコードバージョン xxx	ホームゲートウェイのバージョン番号を示します。
F/W バージョン xxx	
NTP クライアントを開始します。	インターネット上の NTP サーバーを使用して時間設定を行なった日時と結果を示します。
NTP クライアントは、現在の時間 xxx を取得しました。	
NTP クライアントは、現在の時間を取得できませんでした。	
NTP クライアントを停止しました。	
WAN 側固定 IP アドレス xxx を設定します。	WAN 側 IP アドレスを設定した結果や、DHCP サーバーから IP アドレスを取得した日時、IP アドレスの状態が変化した日時を示します。
WAN 側 IP アドレス xxx が取得できました。	
WAN 側 IP アドレスが取得できませんでした。	
WAN 側 IP アドレス xxx が再取得できました。	
ファイヤーウォールを開始します。	ファイヤーウォールの動作状態が変化した日時を示します。
ファイヤーウォールを停止しました。	
UPnP(IGD) を開始します。	UPnP サーバーの動作状態が変化した日時を示します。
UPnP(IGD) を停止しました。	
LAN 側固定 IP アドレス xxx を設定します。	LAN 側 IP アドレスを設定した結果や、DHCP サーバーから IP アドレスを取得した日時、IP アドレスの状態が変化した日時を示します。
LAN 側 IP アドレス xxx が取得できました。	
LAN 側 IP アドレスが取得できませんでした。	
LAN 側 IP アドレス xxx が再取得できました。	
LAN 側 IP アドレスが再取得できませんでした。	
DHCP サーバーを開始します。	DHCP サーバーの動作状態が変化した日時や、LAN コネクタに接続した機器に IP アドレスを発行した日時を示します。
DHCP サーバーを停止しました。	
DHCP サーバーは、xxx のアドレスを機器 xxx に発行しました。	
UPnP クライアントを開始します。	UPnP クライアント機能の動作状態が変化した日時を示します。
UPnP クライアントを停止しました。	
無線 LAN 機能を開始します。	無線 LAN 機能の動作状態が変化した日時を示します。
無線 LAN 機能を停止しました。	
xx ch に設定されました。	無線 LAN 機能のチャンネル設定が変化した日時を示します。
オートチャンネルを実行中です。	
SSID[xxx] は、暗号化なしで動作します。	無線 LAN 機能の暗号化設定が変化した日時を示します。
SSID[xxx] は、WPA パーソナル（AES）で動作します。	
SSID[xxx] は、WPA2 パーソナル（AES）で動作します。	
SSID[xxx] は、WPA パーソナル /WPA2 パーソナル（AES）で動作します。	
Bluetooth 機器を開始します。	Bluetooth 機能の動作状態が変化した日時を示します。
Bluetooth インタフェースは動作を開始しました。	

表示	内容
親ホームゲートウェイに設定しました。	複数ホームゲートウェイ設定の状態が変化した日時を示します。
子ホームゲートウェイに設定しました。	
家電制御機能を起動しました。	家電制御機能の動作状態が変化した日時を示します。
家電制御機能を停止しました。	
(スクリプト名)家電機器(アドレス xxx)への設定変更・操作が行えませんでした。(CODE=xxx, EOJ=xxx,EPC=xxx,EDT=xxx)	スクリプト(ホームゲートウェイ内ソフトウェア)の動作状況を示します。
(スクリプト名)家電機器(アドレス xxx)への設定・状態の取得が行えませんでした。(CODE=xxx,EOJ=xxx,EPC=xxx)	
(スクリプト名)フェミニティ倶楽部との接続に失敗しました。	
(スクリプト名)フェミニティ倶楽部からエラーの応答がありました。	
(スクリプト名)東芝ゲートウェイを再起動します。	
(スクリプト名)データのダウンロードに失敗しました。	
(スクリプト名)データのアップロードに失敗しました。	
(スクリプト名)フェミニティ倶楽部へのエラー通知に失敗しました。	
(スクリプト名)フェミニティ倶楽部への状態変化通知に失敗しました。	
(スクリプト名)一時ファイルのオープンに失敗しました。	
(スクリプト名)スクリプトの重複起動の可能性があります。	
(スクリプト名)スクリプトの有効時間が超過しました。	
(スクリプト名)家電機器からダウンロードしたファイルのサイズが異常です。	
(スクリプト名)ダウンロードしたファイルのBIN->HEX 変換に失敗しました。	
(スクリプト名)フェミニティ倶楽部の URL 取得を失敗しました。	
(スクリプト名)エラー通知ファイルの生成に失敗しました。	
(スクリプト名)一時ファイル名の生成に失敗しました。	
(スクリプト名)ファイルのチェックサムエラーが発生しました。	
(スクリプト名)フェミニティ倶楽部からデータが取得できませんでした。	

2 初期設定値一覧（ルータモード）

（1）インターネット設定

■接続設定

項目	初期値
インターネットへの接続方法	IP アドレス自動取得

■IP アドレス自動取得

項目	初期値
ホスト名	HEM-GW13A

■IP アドレス固定

項目	初期値
IP アドレス	なし
サブネットマスク	なし
デフォルトゲートウェイ	なし
DNS サーバー 1	なし
DNS サーバー 2	なし

■PPPoE 認証

項目	初期値
ユーザー ID	なし
接続パスワード	なし
MTU	1454
サブセッションを使用する	チェックなし
ユーザー ID	なし
接続パスワード	なし
ルール入力方法	ドメインルーティング

(2) LAN設定

■IPアドレス設定

項目	初期値
IPアドレス	192.168.126.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
リース時間	1日
開始IP	192.168.126.100
終了IP	192.168.126.254

■DHCP

項目	初期値
固定DHCP IPを有効にする	チェックなし
IPアドレス	なし
MACアドレス	なし

(3) 無線LAN設定

■基本設定

項目	初期値
無線LAN	有効
SSID1	HEMGW*****（本体背面のラベルに記載）
オートチャンネル	有効
チャンネル	なし/手動チャンネルで選択されたチャンネル

■暗号化

項目	初期値
SSIDの選択	SSID1の値
SSID通知	有効
WMM	有効
暗号化	WPA-PSK
キーの更新間隔	1800
WPAの種類	WPA/WPA2（AES）
キーの種類	ASCII文字
暗号キー	MACアドレスから計算される13桁の数値（本体背面のラベルに記載）

■詳細設定

項目	初期値
RTS スレッショルド	2347
ビーコン間隔	100
DTIM 間隔	1
使用する帯域	20MHz
送信出力	100%

■フィルター

項目	初期値
MAC アドレスフィルタリング有効	チェックなし
説明	なし
MAC アドレス	なし

■WPS

項目	初期値
WPS	チェックあり
PIN コード	MAC アドレスから計算される暗号キーの下 8 桁の数値（本体背面のラベルに記載）

（4）Bluetooth 設定

■機器の設定

項目	初期値
機器名	HEM-GW13A
IP アドレス	LAN の IP アドレス
ホスト名＋ドメイン名	チェックなし

■セキュリティ設定

項目	初期値
現在の Bluetooth パスキー	表示のみ（本体背面のラベルに記載）
新しい Bluetooth パスキー	なし
新しい Bluetooth パスキー（確認入力）	なし

（5）セキュリティ

■DoS

項目	初期値
DoS 攻撃防御	有効

（6）詳細設定

■ポートの開放

項目	初期値
ポートの開放を有効にする	チェックなし
設定名	なし
公開する機器の IP アドレス	なし
プロトコル	両方
LAN 側ポート番号	なし
インターネット側ポート番号	なし

■UPnP

項目	初期値
UPnP	有効
UPnP ポートマップ設定	有効

（7）システム設定

■パスワードの設定

項目	初期値
ログイン名	root
現在のパスワード	pass
新しいパスワード	なし
パスワード再入力	なし

■時刻の設定

項目	初期値
時刻の設定方法	NTP サーバーとの同期
NTP サーバー	ntp.femini.net

次の項目は、設定値が内部で固定されています。

UPnP

項目	値
アイコン名	HEM-GW13A
タイトル	HEM-GW13A
製造元	Toshiba Lighting & Technology Corporation
モデル	HEMS Gateway
モデル番号	なし
説明	なし

ポートの開放

項目	値
Feminity 用ポート番号	443

3 初期設定値一覧（AP モード）

（1）LAN 設定

■IP アドレス設定

項目	初期値
IP アドレスを DHCP から取得する	チェックあり
IP アドレス	192.168.126.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	なし
DNS サーバー	なし

（2）無線 LAN 設定

■基本設定

項目	初期値
無線 LAN	有効
SSID1	HEMGW*****（本体背面のラベルに記載）
オートチャンネル	有効
チャンネル	なし / 手動チャンネルで選択されたチャンネル

■暗号化

項目	初期値
SSID の選択	SSID1 の値
SSID 通知	有効
WMM	有効
暗号化	WPA-PSK
キーの更新間隔	1800
WPA の種類	WPA/WPA2（AES）
キーの種類	ASCII 文字
暗号キー	MAC アドレスから計算される 13 桁の数値（本体背面のラベルに記載）

■詳細設定

項目	初期値
RTS スレッショルド	2347
ビーコン間隔	100
DTIM 間隔	1
使用する帯域	20MHz
送信出力	100%

■フィルター

項目	初期値
MAC アドレスフィルタリング有効	チェックなし
説明	なし
MAC アドレス	なし

■WPS

項目	初期値
WPS	チェックあり
PIN コード	MAC アドレスから計算される暗号キーの下 8 桁の数値（本体背面のラベルに記載）

（3）Bluetooth 設定

■機器の設定

項目	初期値
機器名	HEM-GW13A
IP アドレス	LAN の IP アドレス
ホスト名＋ドメイン名	チェックなし

■セキュリティ設定

項目	初期値
現在の Bluetooth パスキー	表示のみ（本体背面のラベルに記載）
新しい Bluetooth パスキー	なし
新しい Bluetooth パスキー（確認入力）	なし

(4) 詳細設定

■UPnP

項目	初期値
UPnP	有効
UPnP ポートマップ設定	有効

(5) システム設定

■パスワードの設定

項目	初期値
ログイン名	root
現在のパスワード	pass
新しいパスワード	なし
パスワード再入力	なし

■時刻の設定

項目	初期値
時刻の設定方法	NTP サーバーとの同期
NTP サーバー	ntp.femini.net

次の項目は、設定値が内部で固定されています。

UPnP

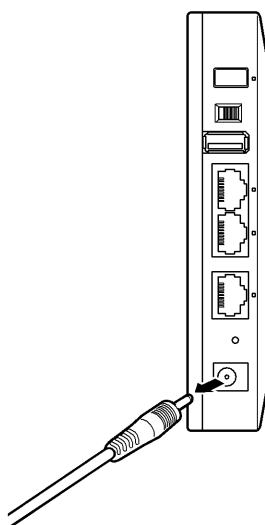
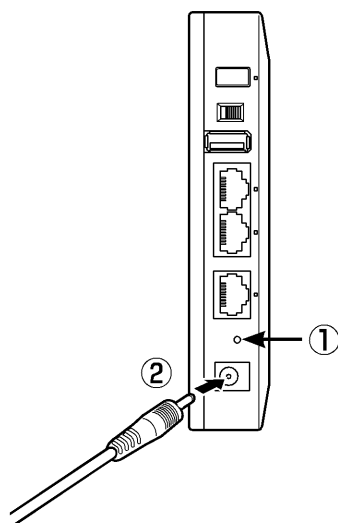
項目	値
アイコン名	HEM-GW13A
タイトル	HEM-GW13A
製造元	Toshiba Lighting and Technology Corporation
モデル	HEMS Gateway
モデル番号	なし
説明	なし
ポートマッピング用ポート番号	443

4　リセットスイッチによる初期化

パスワードを忘れたり、ホームゲートウェイに設定したIPアドレスを忘れてしまった場合、パソコンからブラウザでホームゲートウェイの設定画面にアクセスすることができなくなります。

このような場合、設定画面にアクセスするは、本体側面のリセットスイッチでホームゲートウェイを初期状態に戻してください。

初期化を行うと、ホームゲートウェイのパスワードとLANポート設定、無線LAN設定、Bluetoothパスキーが初期化されます。接続されているネットワーク家電の情報もすべて消去し、工場出荷状態に戻したい場合は、設定画面から「出荷時設定に戻す」を行ってください。重要な設定内容は、初期化を行う前にメモをとっておいてください。

1　ACアダプタのプラグを本体側面の電源コネクタから抜く

2 リセットスイッチを押したまま (①)、AC アダプタのプラグを電源コネクタに挿し込む (②)

お知らせ LED が緑点滅したら、リセットスイッチをはなしてください。お知らせ LED がいったん消灯して再度点滅します。点滅が止まれば、本体の初期化は完了です。
初期化後、再度ホームゲートウェイの設定を行ってください。
（33 ページ「4 ホームゲートウェイの設定画面を表示する」を参照）

5 ライセンス条項について

(使用開始前に同意ください)

使用許諾契約書

本製品に内蔵または付属のソフトウェア(以下総称して、本ソフトウェアといいます。)の使用は、下記の条件への同意が使用許諾の条件となっておりますので、熟読の上、同意いただけますようお願い致します。

記

第1条　定義

「商業ソフトウエア」とは、本ソフトウェアのうち表1に記載されるソフトウェアをいいます。「その他のソフトウェア」とは、本ソフトウェアのうち表1に記載される以外に本製品内蔵のフラッシュロムに記録されているソフトウェアをいいます。「許諾権利者」とは、本ソフトウェアの著作権をもつ権利者または本製品での使用についてその許諾を行う権利を有する権利者をいいます。

第2条　本ソフトウェアの保護

本ソフトウェア及びそのマニュアル等は、その著作権者が著作権等を有しており、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法、その他の国の著作権法、国際条約等に基づいて保護されています。

第3条　商業ソフトウェアの許諾

(1) 商業ソフトウェアは、許諾権利者により以下の条件で使用を許諾されています。
- (a) お客様は、本ソフトウェアを本製品に関して本製品と一体としてのみ使用することができます。
- (b) お客様は、商業ソフトウェアを譲渡、貸与、移転その他の方法で第三者に使用させないで下さい。但し、本製品と一体としての譲渡、貸与、移転の場合は除くものとします。
- (c) 各商業ソフトウェアには、独立した機能をコンピュータ上で実行するための複数のコンポーネントが含まれていますが、その全てのコンポーネントをもって1つの商業ソフトウェアとして扱われるものとします。(*)
- (d) お客様は、商業ソフトウェアの一部及び全部を複製、修正、改変若しくは再配布したりすることはできません。(*)
- (e) お客様は、商業ソフトウェアについてリバースエンジニアリングや逆コンパイルや逆アセンブル等をすることはできません。(*)

(2) 上記各のうち (*) のついた事項については、各商業ソフトウェアの使用条件中で一部変更されている場合がありますので、当該ソフトウェアの使用許諾条件を御参照下さい。

表1：商業ソフトウェア一覧

ソフトウェア名	著作権者
ネットワーク家電制御ソフトウェア	東芝ライテック㈱
Bluetooth ソフトウェア	㈱東芝

第4条　その他のソフトウェアの許諾

(1) その他のソフトウェアについては、その著作権者の定めるところにより、GPL,LGPL, TheApacheSoftware License,THE BSD Copyright,OpenSSL License 等の使用条件のうち該当するものが適用されます。詳細については取扱説明書に記録されている著作権等の情報を御参照下さい。

(2) 使用条件の許諾に基づいてその他のソフトウェアの改変が可能である場合でも、改変を行った場合は弊社の本製品の保証は適用外とさせていただきます。(但し第6条のアップデートの場合を除く。)

第５条　本ソフトウェアの保証

弊社は、通常の使用条件下での、本製品の購入から１年以内の本製品の故障による本ソフトウェアの滅失毀損については、保証書に基づいて本製品購入時相当への本ソフトウェアの修復を行うものとします。

上記を除き、弊社、本ソフトウェアの著作権者、許諾権利者はいずれも、本ソフトウェアについて一切の保証（お客様の特定の目的との合致や、瑕疵の有無を含むがこれに限定されない）を行わないものとします。また、弊社、本ソフトウェアの著作権者、許諾権利者は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（利益の喪失、事業または作業の中断、情報の損失またはその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

第６条　アップデート

本製品の機能を改善するために、弊社または許諾権利者は、本ソフトウェアの変更についてご案内させていただく場合がございます。お客様は、かかる変更の配布条件に従って本製品中の本ソフトウェアの変更を行うことができます。

第７条　輸出管理

お客様は、日本国政府または該当国の政府から必要な許可を得ることなく、本ソフトウェアを直接または間接に輸出しないものとします。

第８条　使用条件の違反

(1) お客様が、これらの使用条件に同意いただけない場合には、本製品の機能の一部または全部がご使用いただけないこととなります。
(2) お客様が本使用許諾契約に違反した場合、弊社は、本使用許諾契約を解除する権利を有します。許諾が中止された場合、お客様は本ソフトウェアを使用できないものとします。
(3) お客様による本ソフトウェアの使用態様が、本使用条件に反する場合や許諾が中止された後に使用を継続した場合、お客様に民事・刑事上の責任が生じることがあります。

以上。

東芝ホームゲートウェイで使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝ホームゲートウェイ（以下、本製品といいます。）に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」という）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、該当コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがございます。お客様が、該当 EULA の対象となるソフトウェアコンポーネントのソースコードコピーの入手を希望される場合には、「東芝ライテック照明ご相談センター」（巻末参照）までご連絡いただくようお願い致します。
また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法により保護されています。東芝自身のソフトウェアコンポーネンツの取扱いについては、本製品の本体に同梱しております「使用許諾契約書」をご参照ください。尚、「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発若しくは作成したソフトウェアコンポーネンツ、および「EULA」の適用を受けない東芝が第三者とのソフトウェアライセンス契約に基づき製品に適用したコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承下さい。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがございます。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者は、一切の保証なく、”as is”の状態で、かつ、明示か暗黙であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここで言う保証とは、市場性や特定目的適合性についての暗黙の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関する全てのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があると分かった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用はお客様の負担とします。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を成し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害について何らの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここで言う損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます。（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読み下さい。

東芝ホームゲートウェイに組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントについては、**「東芝ホームゲートウェイ ”HEM-GW13A” 内蔵のソフトウェアの著作権及び使用許諾条件等について」**をご参照下さい。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」を良く読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載しています。

東芝ホームゲートウェイ
"HEM-GW13A" 内蔵のソフトウェアの著作権及び使用許諾条件等について

"HEM-GW13A"(以下、本製品)には、本製品同梱の使用許諾契約書にある通り、本製品を使用するために使用許諾されている商業ソフトウェアと、それ以外のソフトウェアが下記の通り内蔵されております。使用許諾契約書にお客様がご同意いただけない場合には、本製品の一部又は全部の機能が使用いただけない場合がございます。

1. 商業ソフトウェア

商業ソフトウェアの複製、変更又は配布は、当該ソフトウェアの個別の使用許諾条件に別途記載のない限り禁止されています。

商業ソフトウェアには下記のソフトウェアが含まれております。個々のソフトウェアの著作権表示及び使用許諾条件については使用許諾契約書を御参照ください。

ソフトウェア名	著作権者
ネットワーク家電制御ソフトウェア	東芝ライテック㈱
Bluetooth ソフトウェア	㈱東芝

2. 商業ソフトウェア以外のソフトウェア

商業ソフトウェア以外のソフトウェア一覧、ソフトウェアの著作権表示及び使用許諾条件については、それぞれの権利者の使用許諾契約または条件等に対応しています。なお、以下に記載されているソフトウェアの著作権表示及び使用許諾条件の詳細につきましては、オリジナルのパッケージ及びそのソースコードにてご確認ください。オリジナルのパッケージ及びそのソースコードの入手方法につきましては、本製品添付の取扱説明に記載されている方法により、当社までご請求ください。

※このソースコード配布サービスは、本機種製造完了から3年間経過後はサービス終了又は中止することがございます。

表２：商業ソフトウェア以外のソフトウェア

ソフトウェア名	サイト（URL）	使用許諾条件
util-linux	http://en.wikipedia.org/wiki/Util-linux	GPL
dnsmasq	http://www.thekelleys.org.uk/dnsmasq/	GPLv2
utelnetd	http://sourceforge.net/projects/utelnetd/	GPLv2
iproute2	http://www.linuxfoundation.org/collaborate/ workgroups/networking/iproute2	GPLv2
ppp	ftp://ftp.samba.org/pub/ppp/	GPL
rp-pppoe	http://www.roaringpenguin.com/products/pppoe	GPL
linuxigd	http://sourceforge.net/projects/linux-igd/	GPLv2
miniupnpc	http://miniupnp.tuxfamily.org/	GPLv2
ez-ipupdate	http://www.usinglinux.org/dns/ez-ipupdate.html	GPL
ntpclient	http://doolittle.icarus.com/ntpclient/	GPLv2
igmpproxy	http://sourceforge.jp/projects/sfnet_igmpproxy/	GPLv2
hotplug2	http://freecode.com/projects/hotplug2	GPLv2
simple-ipv4ll	http://www.zeroconf.org/	GPLv2
busybox	http://www.busybox.net/	GPL
uuidgen	http://code.dyne.org/hdsync/plain/src/uuid/	BSD
expat	http://www.libexpat.org/	MIT License
httpd	http://httpd.apache.org/	Apache License, Version 2.0 http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0 を参照
libupnp	http://pupnp.sourceforge.net/	BSD http://pupnp.sourceforge.net/LICENSE を参照
openssl	http://www.openssl.org/	OpenSSL License および Original SSLeay License http://www.openssl.org/source/license.html を参照
php	http://www.php.net/	PHP License v3.01 http://www.php.net/license/3_01.txt を参照
scew	http://www.nongnu.org/scew/	LGPL v2.1
sudo	http://www.sudo.ws/	ISC-style license. http://www.sudo.ws/sudo/license.html を参照

(1) Apache License Version 2.0, January 2004 http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

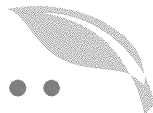
1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

    (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

    (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

    (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

    (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

    You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

(2) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

   In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

   If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

(3) MIT/X Consortium License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark CooperCopyright (c) 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

This version of the GNU Lesser General Public License incorporates the terms and conditions of version 3 of the GNU General Public License, supplemented by the additional permissions listed below.

0. Additional Definitions.

As used herein, "this License" refers to version 3 of the GNU Lesser General Public License, and the "GNU GPL" refers to version 3 of the GNU General Public License.

"The Library" refers to a covered work governed by this License, other than an Application or a Combined Work as defined below.

An "Application" is any work that makes use of an interface provided by the Library, but which is not otherwise based on the Library. Defining a subclass of a class defined by the Library is deemed a mode of using an interface provided by the Library.

A "Combined Work" is a work produced by combining or linking an Application with the Library. The particular version of the Library with which the Combined Work was made is also called the "Linked Version".

The "Minimal Corresponding Source" for a Combined Work means the Corresponding Source for the Combined Work, excluding any source code for portions of the Combined Work that, considered in isolation, are based on the Application, and not on the Linked Version.

The "Corresponding Application Code" for a Combined Work means the object code and/or source code for the Application, including any data and utility programs needed for reproducing the Combined Work from the Application, but excluding the System Libraries of the Combined Work.

1. Exception to Section 3 of the GNU GPL.

You may convey a covered work under sections 3 and 4 of this License without being bound by section 3 of the GNU GPL.

2. Conveying Modified Versions.

If you modify a copy of the Library, and, in your modifications, a facility refers to a function or data to be supplied by an Application that uses the facility (other than as an argument passed when the facility is invoked), then you may convey a copy of the modified version:
a) under this License, provided that you make a good faith effort to ensure that, in the event an Application does not supply the function or data, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful, or
b) under the GNU GPL, with none of the additional permissions of this License applicable to that copy.

3. Object Code Incorporating Material from Library Header Files.

The object code form of an Application may incorporate material from a header file that is part of the Library. You may convey such object code under terms of your choice, provided that, if the incorporated material is not limited to numerical parameters, data structure layouts and accessors, or small macros, inline functions and templates (ten or fewer lines in length), you do both of the following:
a) Give prominent notice with each copy of the object code that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.
b) Accompany the object code with a copy of the GNU GPL and this license document.

4. Combined Works.

You may convey a Combined Work under terms of your choice that, taken together, effectively do not restrict modification of the portions of the Library contained in the Combined Work and reverse engineering for debugging such modifications, if you also do each of the following:
a) Give prominent notice with each copy of the Combined Work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.
b) Accompany the Combined Work with a copy of the GNU GPL and this license document.
c) For a Combined Work that displays copyright notices during execution, include the copyright notice for the Library among these notices, as well as a reference directing the user to the copies of the GNU GPL and this license document.
d) Do one of the following:
0) Convey the Minimal Corresponding Source under the terms of this License, and the Corresponding Application Code in a form suitable for, and under terms that permit, the user to recombine or relink the Application with a modified version of the Linked Version to produce a modified Combined Work, in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.
1) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (a) uses at run time a copy of the Library already present on the user's computer system, and (b) will operate properly with a modified version of the Library that is interface-compatible with the Linked Version.
e) Provide Installation Information, but only if you would otherwise be required to provide such information under section 6 of the GNU GPL, and only to the extent that such information is necessary to install and execute a modified version of the Combined Work produced by recombining or relinking the Application with a modified version of the Linked Version. (If you use option 4d0, the Installation Information must accompany the Minimal Corresponding Source and Corresponding Application Code. If you use option 4d1, you must provide the Installation Information in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.)

5. Combined Libraries.

You may place library facilities that are a work based on the Library side by side in a single library together with other library facilities that are not Applications and are not covered by this License, and convey such a combined library under terms of your choice, if you do both of the following:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities, conveyed under the terms of this License.
b) Give prominent notice with the combined library that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

6. Revised Versions of the GNU Lesser General Public License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library as you received it specifies that a certain numbered version of the GNU Lesser General Public License “or any later version” applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that published version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library as you received it does not specify a version number of the GNU Lesser General Public License, you may choose any version of the GNU Lesser General Public License ever published by the Free Software Foundation.

If the Library as you received it specifies that a proxy can decide whether future versions of the GNU Lesser General Public License shall apply, that proxy's public statement of acceptance of any version is permanent authorization for you to choose that version for the Library.

(5) OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions
are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

(6) The PHP License, version 3.01

Copyright (c) 1999 - 2006 The PHP Group. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, is permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name "PHP" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact group@php.net.

4. Products derived from this software may not be called "PHP", nor may "PHP" appear in their name, without prior written permission from group@php.net. You may indicate that your software works in conjunction with PHP by saying "Foo for PHP" instead of calling it "PHP Foo" or "phpfoo"

5. The PHP Group may publish revised and/or new versions of the license from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.
   Once covered code has been published under a particular version of the license, you may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such covered code under the terms of any subsequent version of the license published by the PHP Group. No one other than the PHP Group has the right to modify the terms applicable to covered code created under this License.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes PHP software, freely available from <http://www.php.net/software/>".

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PHP DEVELOPMENT TEAM ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PHP DEVELOPMENT TEAM OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the PHP Group.

The PHP Group can be contacted via Email at group@php.net.

For more information on the PHP Group and the PHP project, please see <http://www.php.net>.

PHP includes the Zend Engine, freely available at <http://www.zend.com>.

(7) ISC-style license:

(8) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 1, February 1989

Preamble

The license agreements of most software companies try to keep users at the mercy of those companies. By contrast, our General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. The General Public License applies to the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. You can use it for your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Specifically, the General Public License is designed to make sure that you have the freedom to give away or sell copies of free software, that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of a such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must tell them their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GGNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications. Each licensee is addressed as "you".

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this General Public License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this General Public License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, and copy and distribute such modifications under the terms of Paragraph 1 above, provided that you also do the following:

   a) cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change; and

   b) cause the whole of any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains the Program or any part thereof, either with or without modifications, to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this General Public License (except that you may choose to grant warranty protection to some or all third parties, at your option).

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the simplest and most usual way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this General Public License.

   d) You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

   Mere aggregation of another independent work with the Program (or its derivative) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of these terms.

3. You may copy and distribute the Program (or a portion or derivative of it, under Paragraph 2) in object code or executable form under the terms of Paragraphs 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

   a) accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Paragraphs 1 and 2 above; or,

   b) accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party free (except for a nominal charge for the cost of distribution) a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Paragraphs 1 and 2 above; or,

   c) accompany it with the information you received as to where the corresponding source code may be obtained. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form alone.)

   Source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable file, complete source code means all the source code for all modules it contains; but, as a special exception, it need not include source code for modules which are standard libraries that accompany the operating system on which the executable file runs, or for standard header files or definitions files that accompany that operating system.

4. You may not copy, modify, sublicense, distribute or transfer the Program except as expressly provided under this General Public License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, distribute or transfer the Program is void, and will automatically terminate your rights to use the Program under this License. However, parties who have received copies, or rights to use copies, from you under this General Public License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. By copying, distributing or modifying the Program (or any work based on the Program) you indicate your acceptance of this license to do so, and all its terms and conditions.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.

7. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of the license which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the license, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

8. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

9. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

10. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

上記以外の著作権等

本機器には上記のソフトウェア以外にも画像・音声等や設定ファイルが記録されております。これらの著作権は株式会社　東芝又はその他の著作権者が保有しており、無断の複製・配布は禁止されております。

＜商標表示＞

Bluetooth® は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

6 本体仕様

形式番号

HEM-GW13A

インタフェース

- WAN : 10BASE-T/100BASE-TX 1 ポート
- LAN : 10BASE-T/100BASE-TX 2 ポート
- Bluetooth
- IEEE 802.1 b,g,n

Bluetooth の仕様

- Bluetooth Version 2.1
- 対応プロファイル：
  - Generic Access Profile
  - Service Discovery Application Profile
  - Personal Area Networking Profile
- Power Class 1

寸法

- 本体 : 約 140 × 140 × 28.5(mm)
- AC アダプタ : 約 70 × 49 × 32(mm)

重量

- 本体 : 約 260g
- AC アダプタ : 約 130g

電源

- AC アダプタ入力 : AC100V 50Hz/60Hz 17VA
  出力 : DC12V 600mA

7　故障時の対応

異常や故障が発生したら、次の①～③の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口」までご連絡ください。

①使用している機器の名称

②ご購入年月日、ご購入先

③現在の状態 (できるだけ詳細に)

■お客様ご相談窓口

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）

受付時間：365日　**9:00～20:00**

携帯電話・PHSなど　**046-862-2772**（通話料：有料）

FAX　**0570-000-661**（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

8 保証とアフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
販売店に修理のご相談ができない場合は「お客様ご相談窓口」までご連絡ください。

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）
受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX 0570-000-661（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書

・保証書は別添「セットアップガイド」に含まれております。
・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
・**保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。**
詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

・東芝ホームゲートウェイの補修用性能部品は製造打ち切り後 5 年間です。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
・使用している部品は、性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

部品について

・修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは（出張修理）

・第 7 章「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に関しましては、保証書をご提示ください。

● 保証期間が過ぎているときは…

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

● ご連絡いただきたい内容

品　名	東芝ホームゲートウェイ
形　名	HEM-GW13A
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店名	電話（　）
故障の状況	
ご住所	
お名前	
お電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	

愛情点検

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

このような症状はありませんか

・電源を入れても、動かないときがある。
・電源コード、プラグが異常に熱い。
・電波の干渉が発生した。
・その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

HEM-GW13A ユーザーズガイド

平成 25 年 10 月 31 日　　647GW13A-01A

発　行　東芝ライテック株式会社

〒237-8510　神奈川県横須賀市船越町 1-201-1